

技術の日立

 **HITACHI**

「何かと何かが出会う所」「接触面」という意味の言葉、Interface。「マン・マシン・インターフェイス」というように使われます。人と機械が交わる所、つまり入出力装置や端末装置のことです。しかし、日立はInterfaceをもっと大きな意味でとらえたいと考えています。近年、高度に進歩した機械の多くは専門家のものでした。操作に知識や熟練を要するからです。人間が機械に合わせていくといってもいいでしょう。でも、これからは機械の方が人間の側に歩み寄る番です。実現には、きわめて高度な技術の数が不可欠です。しかし、そんな技術こそが人間と機械の新しい関係をつくり上げるカギ、すなわちInterfaceであると考える日立は、あえてこの課題に挑戦してゆきます。

● 技術は自由な羽  
**Interface**

# 男子、宿願のロス出場権獲得!

## アジア予選を振り返って

日本協会専務理事 大野 金一

### 選手諸君、おめでとう

何をおいても先ず第一に選手諸君の健闘を讃えたい。とくに、絶壁の崖っ淵で踏んばって勝利をものにしたということは、その喜びもさることながら、この体験は、余人をもってしては得られない貴重な宝物である。

選手の半数はモスクワ・オリンピック代表選手で占められているように、試合経験の豊富さにおいては、中国、韓国比ではない。総体的な技術は一枚も二枚も上であって、終ってみれば、順当な勝ちと言えないことはない。したがって、どん底から這い上がったという表現は当たっていないと思う。しかし、82アジア大会で中国に敗れ、83アジア選手権では、肉体的疲労のどん底で戦わせたというコーチングスタッフの強化方策があったにせよ韓国に初の敗北を喫し、常勝常勝から一転して追う立場に回ったことから、この1年間選手には非常な戸惑いがあったと思う。これが対韓国第1戦(大垣市)に見られたように、リードさ

れているときはもちろん、追いついてリードしたときにも、勝とうあるいは勝たねばというあせりが先立って思わぬ敗北を招いてしまふ。

しかし、こんな中途半端な感じでの予選を落としたら、何のためか長丁場の強化合宿を耐え抜いてきたか分らないことになる。その夜宿舎では選手だけで長時間のミーティングがもたれた。黙々と練習を重ね、当日の試合では控えた選手から「いつもの力を全然出してはいないではないか、それくらいなら自分を試合に出させてくれ」と涙ながらに訴えられた主力選手たちも、はっと打ちのめされたように何かを思った。みんな涙で奮起を誓い合った。

これが市川での対韓国第2戦につなげた。KG井藤が正に瀕死の獅子奮迅の闘いをすれば、ベテランの蒲生、山本、池ノ上、生駒が燃え、本大会のスターにのし上がった西山が炸裂する。同じ人間が5日前とは全くの別人に変わったようだ。何か「把込んだ選手たちは、怒濤の勢いで最終戦の中国を

突き放した。

人間は弱い。己との戦いに敗れば結局他に転嫁する。いかなる場合でも己の逃げ道を作らない、という市原イズムが最後になって実を結んだ。それまでに野田コーチのカミナリは何度落ちたことか。今回の逆転は正に和の勝利の一語に尽きる。

### 女子も大健闘

男子優勝の陰に隠れがちであるが、女子チームも頑張った。前回の世界選手権アジア予選以後殆ど選手が交替し、ここ1年がちょうど過渡期にあたる。従って候補選手も流動的で、このアジア予選までにチームの態勢が整うかどうか危ぶまれる時期もあった。ところが、井監督以下のコーチングスタッフが短期間によくまとめた。勝敗よりも、日本が中国、韓国にどこまで食い下がれるか、というのが私の内心の偽らざる気持であったが、直前のヨーロッパ遠征を経てチームは充実してきた。

今大会の第1ラウンド、中国に同点まで追いついてからチャン

をものにできなかったという不満は残ったが、第2ラウンド、調子の出てきた中国、韓国に対し、力の限りを尽して走り回って、対等の戦いをした。後で敗血症と診断された西選手も怪我を押して奪取。しかし、主砲がこの一門だけではこれが力の限界。宿舎の女将も、電灯を消して布団の中で泣いている選手たちが哀れで、何とも慰めようがなかったと述懐していた。

### 今後の課題

かくて、オリンピック予選は、いろんなドラマを残して一先ず終わった。その裏には、表には出ない多くの裏方がいた。渡辺慶寿強化部長の先見と英断で男子チームにつけたチームドクターの高橋ドクターと加藤トレーナーも選手団の枠には入れなかったが、市川で韓国FPとの衝突で靱帯損傷を受けたGK井藤に対する両ドクターの適切な処置がなかったら試合の結果はどうなっていたか判らない。

### 「ハンドボール」

58年12月号(第25号) 目次

○ロス・オリンピック

男子、出場権獲得……………(1)

アジア地区予選を終えて……………(2)

アジア地区予選戦いの跡……………(8)

○全日本学生選手権大会

総評……………(14)

○全日本学生選手権大会……………(16)

○IHFシンポジウム……………(24)

○第10回全国教員養成大会……………(26)

○各地の記録……………(28)

○ロスへみんな応援に行こう……………(32)

# オリンピックピックアジア予選を終えて……



## 短かくて長く 長くて短かい道だった

日本ハンドボール協会

強化部長

渡辺 慶寿

後の仕上げに日新製鋼、大同製鋼本田技研へと合宿に入り予戦の準備をおこなった。

予戦2日目に日本チームは韓国チームと対戦、ソウルの仇は大垣でと十分な意気込みであったが、目的を果すことができず多くの人達を落胆させた。のこすは次の結果に期待をかけるしかなく舞台は東京へと移った。

チームの目標は、ロスオリ出場を目指すことは当然のことながら、対中国に勝利を得ることであり、4点差で勝利を得たことは、日本チームの今日に至るまでの重圧が少し溶けた感がある。

### 市原イズムが完徹

アジア予選の第2回戦、すなわち折り返りに入り、全勝の韓国は中国と2点差で終ったことは、日本に少なからず安堵感を与えてくれた。いよいよ最後の機会を韓国とどの様に戦うか、韓国戦を前にして、コーチスタッフ選手は、四つに組む心構えて戦に臨んだ。選手達は気魄十分である。観衆の大声援、結果は目に見えていた。選手と観衆は一体となり、勝ちたい。勝たせたい、勝ってもらいたい。一つの和が市川市体育館を漲った。

韓国との6点差の勝利は、最終戦である中国に対して2点差以上

### かつてない大観衆の祝福

試合終了前、観衆の大声援「5、4、3、2、1、0」会場全体が一度に喜びを爆発させた。選手達も勝利の瞬間を待ちに待った。最後の最後まで戦い抜いた。試合終了寸前、主将山本のシニートが決ったと同時に、ロスアンゼルス・オリピックアジア予選の全ての勝負は完了したのである。

中国選手が互いの健闘を賞える握手を日本選手に求めて来たが、日本選手は全員自軍のベンチに駆け寄り、全くの興奮状態であり、中国選手に無礼の一幕もあったが、それらは直ちに打ち消された。

市原監督をはじめコーチ達が次ぎに選手達によって胴上げされ次いで、山本、蒲生、GKの伊藤が宙に浮いた。

日本のハンドボールチームがかつてこれだけ観衆に祝福され、選手自らが勝利に酔ったことがあったであろうか。この勝利の道は決して平坦な道程ではなかった。短かくて長い道長くて短かい道であった。

今年の4月市原則之監督が就任、5月の初めにコーチの近森、野田、一宮の三氏を選び5月中旬にロス、オリアジア予選にむけての選手16名を決定、第1次合宿を大同製鋼、ブラザー工業を皮切り

に第2次徳山、第3次日体大、第4次日新製鋼、そして7月にフランスナショナルチームと対戦し日本現勢力の小手調べで3戦2勝1分となったが、内容は決して満足できるものではなかった。11月にひかえたアジア予選に不安な材料がこった。

コーチングスタッフは、フランスナショナルチームの後を追いつ韓国に渡り、韓国チームの分析を在韓中熱心に議論した。この時点で日本チームは十分に勝算ありと判断した。

8月の中旬函館合宿をおこない9月1日より9月18日西独、ユー

ゴを転戦この期間日本協会として初めてドクターの参加をお願いいただいた。その成果は大きくドクターの献身的な働きにより選手達の信頼を深めた。これもドクターの人格とチームに対しての情熱であると考えた。

帰国6日の後、チームは第3回アジア選手権大会へとソウルに向け大阪より出発。この大会では、結局地元韓国と優勝を競うこととなるが、韓国の若い力に6点差で対戦した。帰国後計画通り反省合宿をおこない韓国戦の敗因と今後の対策をチームは十分に練り、赤城

国体後より、アジア予選に向け最





# 天の声、地の利 そして人の和の勝利！

日本ナショナル・チーム

男子監督 市原 則之

## 興奮から感謝の気持ちへ

11月20日、東京、駒沢体育館において、私は、私の数年間のハンドボール生活の中で、初めて体験する興奮と、体の中からわき上がる喜びの中で、この予選にかけてきた私達のこの日までのことが、頭の中を駆けめぐったのでした。

そして、その喜びを体中で表わし、観客と一体になった選手達の勝利の叫びを聞きながら、私は心の奥底から、これまで共に頑張ってきてくれた、コーチングスタッフ、そして選手諸君への感謝の気持ちと、私達を支援して下さいました、協会関係者、そして、全国の数多くのハンドボールファンの皆様への感謝への気持ちと変っていったのです。

去年、アジア大会で中国に敗れ、追われる立場から一転してチ

ヤレンジャーとなった日本のハンドボール界で、今年5月、新しくナショナルを結成、私とコーチングスタッフ、選手、三身一体となって、このオリンピック予選を、最大かつ、最終目的とすることを誓い合って6カ月、その間、アジア選手権で、韓国に敗れ、この予選が、私達にとって、全国のハンドボール関係者にとっても、いかに苦しい戦いであったかは言うまでもないことでした。

しかし、私にとっては、この11月のオリンピック予選をいかに戦うか、これが私に課せられた唯一のテーマだと確信し、それまでのいかなるものも、そのための一過程にすぎないものと考えていたの

## 不死鳥の如く甦る

すぎない、最後の本番で選手達は必らずやってくれと信じ、自らの考えを押し進めていったのです。つまり、最後に勝利を得るには、いかにその過程を送っていくかが、私にとって最大の課題であり、それを、いかに最終目的に結びつければならないかが最も重要なことと考え、その中で、アジア選手権を目前にしてヨーロッパ遠征を行ない、しかもその遠征の中で、ほぼ毎月のようにゲームと、1日3回におよぶトレーニングを課し、西ドイツで、ユーゴスラビアで、選手をボトムの状態に追い込み、その中で、いかに自己能力を発揮出来るか、いかにゲームに対応出来るか、そして逆境に打ち勝つ精神力を養ない、ゲームに對しての闘争心を作り上げるように心掛

けました。

そして帰国後、わずか4日で韓国、ソウルで行なわれたアジア選手権にと、強行軍の中で、選手の中には身体的、精神的に完全に最低ラインまで落ち込む者も出る状態の中、決勝戦で韓国に完敗するという、最悪の予想結果に終りましたが、この苦しい体験が、オリンピック予選に入り、2試合目、韓国に敗れ、絶対絶命と言われたピンチから、不死鳥のようにチームが立ち直る力になったものと信じています。

アジア選手権で韓国に敗れた私達の前途を関係者の皆さんは、きっとオリンピック予選にむかって暗雲のたち込める思いだったと考えます。はたから見ていると、市原の考え方は、市原のやり方は、

と不安であったことと思います。しかし、もしオリンピック予選に敗れていたとしても、私の選んできた道、そしてそれを信じて頑張ってきたコーチングスタッフ、選手の子選にかけた努力は間違いのなかったものだと思信しています。

# オリンピックアジア予選を終えて……



オリンピック出場権を得て市原監督を感激の胴上げ

した。  
そして、この敗戦は、私達がオリンピック出場までに、いかに苦しみを味あわなければならぬかと現実に思いしらせた、大切な戦いでした。

## 第5戦の韓国に全力を

この教訓の中で、第3戦、中国にアジア大会の雪しよくを果た

以来、対韓国戦3戦目にして、私

し、もう一度、韓国とオリンピック出場をかけて戦えるチャンスを作った時、今までアジア選手権から上昇気流に乗ってきた韓国のその勢いに、多少かげりが見えてきたと判断した私は、第5戦の韓国戦に、全てをかけるべく選手に徹をとばした。

が、そしてコーチングスタッフが考える通りの試合運びとなり、途中ゴールキーパー井藤の負傷というアクシデントをも乗り越え、韓国に雪しよく、しかもそのスコア1、25対19は、奇しくも、私達が韓国でアジア選手権で敗れたのと、同スコアという結果でした。

## ロシアの空に日の丸を

これは日本のハンドボール界、全てがつかんだ勝利だと確信しています。

この一戦で、オリンピックへの道は、私達に大きく開かれ、最終戦、中国に対しても、選手は私達の考えていた通りのゲームはこびで、ついに夢にまで見たロサンゼルス・オリンピックへとゴールインすることが出来たのです。

振り返ってみますと、私達の勝利は、ただ単に私達の実力と言うよりも、総てにおいて、天の声、地の利そして人の和があったように思われます。

クウェートが不参加を表明し、4チームになったとき、いち早く2回戦総当りに変えたこと、そして、四日市、大垣、東京、相模原、市川と私達に熱狂的に声援を送ってくれた、ハンドボールファン、

各地で暖かい心づかいで激励し、私達の不安をはらって下さった、協会関係者、これらが私達が勝つことの出来た大きな要素であるこ

今、日本のハンドボールはアジアの伝統国として、アジアの代表として、ロサンゼルスにむかって大きく歩を進めようとしています。今度はこの予選の興奮を、ハンドボールファンだけではなく、日本の全ての人に分かち合えるように、今まで以上の努力が必要だと痛感します。しかし目標を大きく、そして日本のハンドボールの力を世界に示し、日本のハンドボールを愛好する人達の夢と希望を生むことの出来るナショナルチームとして、ロシアの空に日の丸の上る日を目指し、これからも頑張っていく覚悟でいます。

最後に、もう一度、熱烈な声援を下さった各地の皆様、日本協会関係者の皆様にご心からの感謝を表わすと共に、今後の御支援をお願いします、この文の終りとなります。

ミシンからエレクトロニクスまで

# WJJKI

シユキ

東京重機工業株式会社

- 工業用ミシン
- 家庭用ミシン
- 電算機周辺機器
- 事務機
- 家庭電気製品
- 縫製附帯機器

# ●オリンピック・アジア予選を終えて

## 日本女子が残した課題

### 「精神的に強靱な選手の育成を」

オリンピック・アジア予選で、日本女子は韓国、中国の厚いカベを破れず、念願のロス行きはならなかった。しかし、アジア予選を日本で行なった意義は大きく、またその試合

#### 日本開催の意義・大会運営

函館での大会、受入れ、大会運営ともにベストで、国内ではこれ以上の環境は考えられないほどで、中、韓国スタップ、選手も同様の意見であった。練習時間その他にも充分の配慮で、他国での大会では目に見るマイナスマグがなかっただけでも日本開催の意義は充分であり、北海道、とくに函館市民の聖火リレーや開会式、前夜祭として大会期間中を通して、中、高校生が多く観戦しても

らえたことが今後大きくハンドボールの普及に役立った事と思えた。マスコミ関係の取材、報道も多く、われわれの成績でそれらの姿勢に充分報いられたことが残念でした。

#### ゲーム経過寸評

▽第1戦  
日 本 19 (109 | 121) 25 中 国  
後半17分このゲーム初めてタイスコア16 | 16に迫いつく。しかしこれから3分間の短い中で速攻のバスマス、ローリングのボールを

カットされる痛いミスが続き、3点のリードを許し勝負が決まる。石井のステップシュートがよく決まったが及ばず。

▽第2戦  
日 本 18 (11 | 12) 20 韓 国  
ゲーム開始直後2点連取、リズムをつかみかけるがもう1本というたたみかけの場面で第1戦同様のミスで追いつかれる。双方ともに固く凡戦。その後も一進一退をくりかえし、サイドの柳に個人技でポイントされ2点差を返せず2

#### 分 析

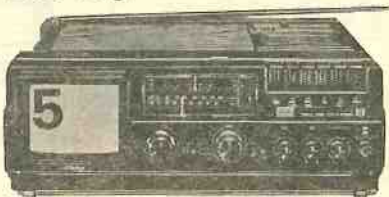
（攻撃）  
増永の鋭いカットインプレーは4戦すべてに通じ、チーム一番の16得点はすばらしかった。しかし両45度のアタッカーであり、チームのリーダー格の藪田、石井が2人で24得点で1ゲーム平均6点ではあったが勝負どころでのポイントが少なく、リラックスする攻撃

日 本 23 (1310 | 1513) 28 中 国  
今大会の目標であった22 | 25得点に3戦目でやっと達したが28失点。腕の外傷でショートタイム登場の西が奮起して6得点、ムードが良くなったところで得たベナルティを3本外して勝機を逸す。

▽第4戦  
日 本 19 (118 | 141) 26 韓 国  
最終戦9点差を開いて勝てば勝率で中国を上廻れる韓国。エース尹にボールを集める展開となり、5分過ぎからは完全マンツウ。あせり気味で攻撃がチグハグになる場面もあったが日本もリーダー格の藪田、石井の固さが抜けず敗戦。わずかに増永、前田、岩村、寺沢の若手がこのゲームの7割5分の14点を取ったことが各試合を通して頑張ったGKと併せて数少ない明るい材料といえる。

## うちのエース、背番号50。

基本に忠実な選手ほど、臨機応変に動けるものです。基本性能に優れたメカがフォーメーションを組んだ、ビクターのカラカセ50。〈見る・聞く・録る〉を一台でやっつけるマルチプレーヤー。カラーになった1機3役メカです。



カラーテレビ・ラジオ・カセット  
**カラカセ50**  
CX-50 標準価格110,000円  
(アンテナ・工事別)

●ビクターへのお問い合わせ、カタログ請求は(〒100)東京都千代田区麹町3-2-4露山ビル 日本ビクター(株)インフォメーション・センター  
(TEL東京 03-580-2861)へ ●あなたが録音したものは個人として楽しむものほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。

Victor JVC  
日本ビクター株式会社

を狙うチームの重要なポジションで固さがとれず、リダーシップも発揮できないままに大会が終了感で、ヨーロッパ遠征で各ゲームで果した22-25得点到達がでさず大きい敗因といえる。前田、岩村そして負傷をおして短い時間を出場した西は一応評価できるが、単発な点で勝利に貢献できなかった。

大型ポスト岩村を記した布陣は両国にやや戸惑いを感じさせたが、前述のアタッカーの動きが悪いため効果をあげるまでには至らなかった。昨年5月の反省材料であったアタッカーの養成が今回も果せなかったが、大型アタッカーの出現こそ今の女子界に最も求められる点である。

#### 〔速攻〕

展開はチーム結成時より数段の進歩を見せたが、キヤリア不足から余裕のなさから生じる状況判断の拙さでオーバーステップやパスミス、悪いケースではカットされてそのままゴールに持ち込まれる場合がいくつもあり、それがまた同点、勝ち越しといった大切な場面で続出、勝機を失うことが多かった。ケースを数多く消化する、共通の理解を持ち合うなど、もっと時間をかけて取り組まねばならない部分と思える。

#### 〔セットオフエンス〕

これも試みたものの成功率は高

く、結論からいえば同一メンバーで何度も何度もくり返し、国際ゲーム等で試みながら鍛えてゆく性質のものであり、速攻同様時間が必要。左利きのプレーヤーの出現も不可欠の戦力である。

#### 〔防衛〕

0:6を主体に状況に応じて1:5マンツウと使いわけたが、防衛の基本の徹底に甘さからくる弱さで相手の攻撃を十分に受けとめるだけの力に欠けた。これは国内の各チームにいえることだが、フットワーク、そして対応力、読む能力、位置通り、これらの防衛に必要な基本技の練習が真剣に成されているのか。ややもすれば体格だけの大型化のみに専念して、大型化すればするほど必要となるフットワークやボディコントロールの強化が並行して行なわれているのかと思いたいケースがあまりにも多く感じられた。日本全体の問題として日本人の体格に適した防衛方法を考え、徹底しなければ大型でスピードのある外国チームの攻撃に耐えることができず、点のとりあいのゲーム展開ではいかにも日本は不利であると思つた。

#### 〔GK〕

ゴールキーパーに関しては現在の国内のトッププレイヤーである矢部、井村をチームに復帰させたことで充分期待に込めてくれた。日、韓、中の中でも日本のキーピ

ングテクニクは光っており再三のピンチを救ったことを特筆したい。今後の課題は次の全日本のゴールを守るにふさわしい人材が少ないことがなやみであること、速攻展開力のバスの技術をもっと進める必要性を感じる。

#### 〔結論〕

全日本のチーム構成には大きく考えて二つの方法があり、今回は各チームから平均的にピックアップする方法でチームづくりを行ったが、これは裏を返せばどのチームも小粒で、同じレベルで出色のチームがなく、主体性を持つに至らなかったわけで、韓国、中国の先発メンバーが昨年とほとんど同じであったのに比して日本は2人がわずかに残り、それもなかりレベルダウンの成績では、とくに中国が同じメンバーで国際的にキヤリアを積んだ分差があり、肝心なところでミスで自滅した日本と対照的であった。苦しい場面でのチーム力としての対応は主体性のあるチームの底力に期待したいところであり、また他チームのエースが即他チームで100%の力が発揮できるのか、あるいは主体チームの8、9番目の選手との力の比較など、今後の課題は多いものの、国内の各チームがどこに主体性をもつていっても充分にその期待に込え得るようなレベルアップを当面期待したいものです。

大切な場面で日頃の力が発揮できなかった精神面の問題とデフェンスの強化が果せなかった件は、スタッフのチーム把握力の問題と練習プログラムの内容の問題で、敗戦の最大のもので、スタッフの責任を痛感しています。

今後の方針として考えられることは、次の世界選手権大会予選、そしてソウルオリンピック予選の二段構えの中で少しの部分では段階的でも大筋ではあまり変らないメンバーで、数年の体験を積み上げるのが大切であり、どこかのチーム（現時点ではとくに見当らない）に主体を持たせてそれに必要な部分の強化を他から補う方法が最善ではないか。つまり主体になるチームの口頃の練習が即全日本の主体の部分の練習である、そんなシステムでなければアジアといえども国家養成選手の色彩の強い中国、韓国に同等に強化をすすめるには時間も経済的にも及ばないと思えます。そして精神的に強靱な選手の育成も各チームがそれぞれに工夫して実現してもらいたい大事なことだと思います。



## 大崎電気工業株式会社

取締役社長 渡辺 和美

本社 東京都品川区東五反田 2-2-7  
電話 03 (443) 7 1 7 1 (大代表)  
営業所 札幌・仙台・大阪・広島

電力量計・電流制限器  
漏電しゃ断器・計器用変成器  
配分電盤・監視制御装置  
タイムスイッチ



# オリンピック・アジア地区予選



戦いの跡

## 快！日本へ男子 ロス五輪へ羽ばたく

### 強敵 韓国 中国を撃破 劇的な出場権獲得

日本はついに宿願のロサンゼルス・オリンピックのキップを手にした。11月20日、先きの韓国戦に快勝、中国戦に2点差以上で勝てばロス五輪アジア代表となる日本は、のしかかるプレッシャーをはねかえして、中国を圧倒、駒沢体育館につめかけた大観衆の声援にこたえて巧守に素晴らしいプレーをみせ、粘る中国を27-20で突き放し、みごとな勝利。それは全選手、監督、コーチ、そして大観衆が一体となってロス五輪への道をきりひらいた劇的な一瞬だった。そしてまた日本ハンドボール界の歴史的な勝利でもあった。

▽11月12日(四日市市体育館)

日本緒戦を飾る

日本、韓国に苦杯

韓国 24 (1014 | 710) 17 中 国

日本 33 (1518 | 105) 15 タイベイ

▽11月13日(八咫市総合体育館) 韓国 24 (8 | 128) 20 日本

得003031513010  
【中】勇鉄練平群信雄英国東明文  
【台】謝孫百和明忠 国建玉山安  
【韓】晋圭英泰德英東世大秉在相  
【日】安林姜委朴鄭姜崔村委李

GK (審・PRフチャダ) 24 (2) PT (1) 17

得0033302013201  
【台】泰正火照興印昌輝隆坤明  
【日】王雅木降高昭瑞其俊簡欽元  
【本】陳葉張鄧紀蘇洪邱張黃ト  
【日】畑藤本生本駒上木賀井山村  
【本】大井山浦中生池佐志松西高

得005410013127  
【日】畑藤本生本 駒上賀井山村  
【日】大井山浦中 関 駒上賀井山村  
【日】大井山浦中 生池志松西高

昨日日本は実力差の歴然としたチャイニーズ台北に楽勝したものの、相手が相手だけに手の内をさらけ出す内容は今一つ鋭さを欠いた。韓国は9月ソウルでのアジア選手権に優勝し、昨日は昨年11月インドのアジア大会に優勝した中国に、気迫で主導権を握り、予

想外の7点差で勝利を収め、日本、韓国とも初戦を飾り幸先よいスタートを切った。

過去日本、韓国の対戦成績はオリンピックアジア予選、世界選手権アジア予選、アジア大会、アジア選手権で8勝1敗と日本の一方的勝利に終わっているが、その1敗が40日前であって、韓国チームのこの予選に賭ける意気ごみは、88年ソウル・オリンピックを控えているだけに凄まじいものがあった。

戦前の予想では、日本がアジア選手権の6点差をどのように締め勝ち越すか、それには韓国の速い攻撃リズムと強引なシュート力を日本の防御陣がいかに守り抜くか、また日本が韓国のねばり強い防御陣を崩せるかにかかっていた。両チームの集中力がいつ切れるかが一つのポイントであり、その時がへばって守りの悪くなる時機ともいえる。開始前からベンチ観覧席はともに異常な雰囲気包まれていた。

両チーム共、選手に固さを見られたが、開始45秒、韓国14番の李が強引にシュートを決める。日本も2分30秒速攻から西山が決め、好調な滑り出しをした。日本は攻撃パターンに欠けたものの、西山の力強いシュートが着々と決まった。

一方韓国は気負いすぎて速攻のミスを繰り返したのと、日本GK

井藤の好守に阻まれて追いつ追われず、一度として2点差が開くとなく8-8で前半を終了した。

前半を見た限りでは両国とも攻守は互角で個人的シュートの得点に終わった。ただ韓国の勝利の執念からくる気負いのミスときたなさが目だった。

後半開始30秒、西山が前半の余勢をかって強引に決めリードしたが、その後5分間一進一退で10-10と並ぶ。5分30秒西山、6分蒲生が初得点し、始めて2点差をつけて押せ押せムードに乗って有利に展開するかに見えたが、ホッとした気持と、へばりからくるツメの甘さで、9分から3分間で4連続得点を許し、一気に13-15とリードを奪い返された。この辺で予想していた集中力の緒が切れたのかもしれない。

その後12分間交互に得点を重ね合い、対等に戦ったが日本の精神的、肉体的へばりに反し、韓国はリードからくる余裕で、ポストから加点し後半12-16とリード、結果20-24で終了、日韓第1戦は日本の敗戦に終わった。

前後半を通じ、日本は蒲生を休ませられなかったことを含め、選手交替が苦しかった、反対に韓国は交替を多くして戦力アップを計った。平均年齢で日本が28.8歳、韓国28.0歳と体力的問題もあった。そのうえ韓国は優勝すれば報奨金

が出るのか、2年間の兵役が免除されるとかで、いかい希望を持っていた。それに反し日本は2カ月前の6点差のハンデいを背負って勝たねばならないという気持のあせりがあったともいえる。

前後半を通じ西山が気力の充実した神がかり的シュートで20得点中14点入れたことは立派であり、将来に大きな希望をもたらしたといえる。

韓国の14番李、2番林、中国戦で10得点した3番崔のねばりと突進力で切れ味のよいシュートはすばらしかった。

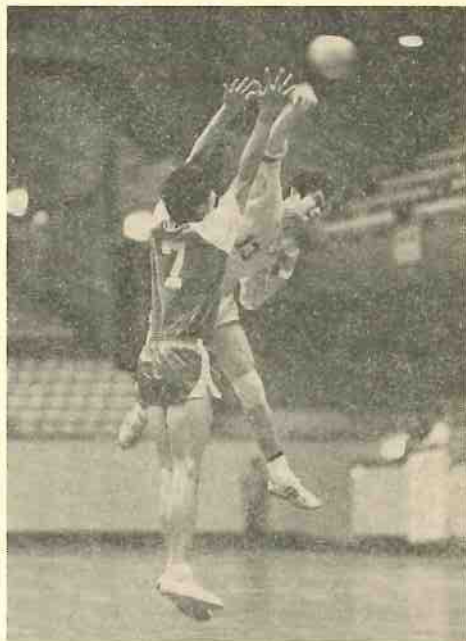
韓国の勝気からくるプレートのきたなさと接触プレーで、倒れた時にタイムを取りゲームの流れを変えるプレーは感心できなかった。2回戦方式だから、今日は前半を終了したところ、後半(2回戦)にリードされた4点を追い上げる追う身の強さを發揮して逆転勝利を期待したい。

△元全日本監督 村田 弘

<p>▽11月15日(東京体育館)</p> <p>韓国 38 (2117   123) 15 タイパイニース</p> <p>得0053212227961</p> <p>【台】泰正火銘頭印輝隆坤永生</p> <p>【中】孫一和明忠 耀建工景安</p> <p>【韓】安林姜朴鄭 姜權朴姜李</p> <p>GK (審・PR) プラウハホス</p> <p>(3) PT (2) 35</p>	<p>日本 27 (1314   158) 23 中</p> <p>得004334300118</p> <p>【台】泰正火銘頭印輝隆坤永生</p> <p>【中】孫一和明忠 耀建工景安</p> <p>【韓】安林姜朴鄭 姜權朴姜李</p> <p>GK (審・PR) プラウハホス</p> <p>(4) PT (2) 27</p>	<p>中国 35 (1916   108) 18 タイパイニース</p> <p>得00213376160445</p> <p>【台】泰正火銘頭印輝隆坤永生</p> <p>【中】孫一和明忠 耀建工景安</p> <p>【韓】安林姜朴鄭 姜權朴姜李</p> <p>GK (審・PR) プラウハホス</p> <p>(0) PT (0) 38</p>
---	--	--

ロスへの夢は閉ざされることになる。恐らくスタッフも選手達もこの試合に必勝を期し、そして調子に乗せ、第2戦を迎えたいのは当然である。

試合は立ち上がり、日本がやや緊張気味かそれとも大事を取り過ぎていのか、動作に堅さがみられた。技巧派の池ノ上、豪快、生駒、それに若きポイントゲッター西山と連続してミドルを狙うが、これもゴール・キーパーの好守に阻まれ得点に繋がらない。中国は3分30秒、王雄がきれいなフェイントから見事に決めて先取点、続いてPTも決めて、滑り出し好調。しかし6分、日本も生駒が強烈なシュートを決め、ようやく館内は沸き立つが中国もPTなどでリードを続ける。その後日本は西山の速攻、蒲生のミドル、続いて中本が決めて4対4と13分に迫り着き、さらに山本がサイドから決めて5対4とこの試合初めてリード、この日調子の良い生駒が蒲生からの横パスをロングシュートで決め、7対5と優位にたつ。23分蒲生退場、その間中国も食い下がりが1点と詰め寄るが、右サイドからまたも絶対好調の西山が決めた大きな穴をうめる。24分、生駒からめずらしくサイドに廻った蒲生にパスが繋がれ、これが鮮かに決まって9対6となる。その後も日本は西山らの大活躍でたたみ掛ける



西山が豪快なシュートを見せ大活躍

ように得点を重ね、14対8で前半を終了、このあたりからロスが微かにみえてきた。

後半開始直後、中国がPTを決めてスタート、その後日本も西山のミドルで15対7、その2分後、志賀から池ノ上に好パスが出て16対7、続いて主将山本がPTを決め、さらに6分蒲生が速攻と久々にロングシュートを決めて19対12とリードを続ける。完全に日本ベイスで試合が展開され、暗いトンネルからようやく抜け出した感さえした。

10分経過後も、生駒、西山と得点、そして松井が絶妙なスカイを決めて大きくリードし試合は決したかにみえた。しかしその後、退場やメンバーチェンジをする間にミス等が続ぎ、急に中国ベイスへ

と移り、王雄らに連取され、さらには調子をあげる江山明のフェイント攻撃で連続得点を許し大量リードも束の間、4点差でようやく逃げ切った。

この試合、後半15分経過したところで10点差とリードしたが、16分から5連続得点を取られて逆。特に後半の後半では5対10と、第2戦ではこの点を十分注意する必要があるのではないかと思う。しかしながら全日本はアジア大会敗戦後の試合であり、スタップ、選手一丸となって奮闘し勝利を得たのは大変立派であった。第2試合の韓国戦に総てを賭け、どうしても五輪出場を日本ハンドボールの今後のためにも決めて欲しい。(川上整司)

日本、タイペイを連破

▽11月16日八相模原総合体育館

日本 32 (15|17) 18 9 9

得点 0 0 6 1 0 1 5 0 2 2 1 0

【台湾】泰正 火銘 顯 隆 印 昌 隆 坤 明 永 生  
【王永雅】木曜 隆 高 昭 俊 簡 欽 元  
【王葉】陳 楊 張 鄭 紀 蘇 邱 張 黃

GK (審) PR フチャヤダ

【日本】藤村 本生 本 上 瀨 木 山 村 口  
【日】井 上 山 蒲 中 関 ノ ガ タ 々  
得点 0 0 4 4 3 0 4 6 0 0 5 4 2 4

GK (審) プラウハボス

【韓国】0 0 3 1 4 4 0 0 0 1 5 4 4 8

【国】勇 鉄 平 信 雄 延 庭 英 国 東 明 康 文  
【中】繼 和 忠 耀 國 張 玉 山 景 安  
【謝】孫 章 高 王 王 張 蔡 胡 江 李 景 安

GK (審) 審

得点 0 0 1 1 7 3 1 0 4 1 2 2 2 3

▽11月18日八市川市民体育館

中国 38 (19|19) 31 19 19

得点 1 1 回戦に勝っている中国は、ベテランの金百煉、王耀雄を外す余裕を見せてスタート、4分タイペイ14番ト元生のシュートで先制を許すも、5分すぎから、王雄、高忠信の連続得点で10分、5対3と試合の主導権を握り、身長差、豊かなジャンプ力から、速攻、ロン

グ、サイド、ポストと自在な攻撃を展開、若いタイペイの左腕トリオを中心とする懸命の反撃を、要所で防ぎ、着実に差を広げ、前半で全員得点を記録、19対12で折り返した。

得点 0 0 1 3 0 4 11 6 1 1 4

【台湾】泰正 火銘 顯 隆 印 昌 隆 坤 明 永 生  
【王永雅】木曜 隆 高 昭 俊 簡 欽 元  
【王葉】陳 楊 張 鄭 紀 蘇 邱 張 黃

GK (審) BZ・モスニカ

【中国】鉄 平 信 雄 延 庭 英 国 東 明 康 文  
【中】繼 和 忠 耀 國 張 玉 山 景 安  
【謝】孫 章 高 王 王 張 蔡 胡 江 李 景 安

GK (審) 審

得点 0 0 9 4 6 2 2 2 4 2 5 3 3 1

後半に入り、中国が、若手の章和平、蔡建國で加点すると、タイペイは、長身・紀昭印のロング、カッティンで8得点をあげる活躍で互角の展開としたが、前半の得点差を守った中国が、38対31で試合を終えた。

国名表記等で、しばしば問題になるカードであるが、試合は友好そのもので、あらためてスポーツのすがすがしさを印象づけた一戦であった。(樋口利郎)

日本第1戦の雪じよく果たす

日本 25 (11|14) 19 10 9

自力優勝へ雪辱を期す日本は、GK井藤、前に山本、左から西山、生駒、蒲生、志賀、池ノ上、攻撃に山本、松井を投入する布陣

得点 2 5 本 25 (11|14) 19 10 9

韓国

得点 2 5 本 25 (11|14) 19 10 9

# 中村荷役運輸株式会社



創業65年

本社 〒108 東京都港区芝浦2-3-39

電話 東京 (03) 451-4161(代)

得0	0	6	2	1	3	5	0	1	2	5	0
本)	藤	村	本	生	本	駒	上	瀬	賀	井	山
【日	井	上	山	蒲	中	生	池	洞	志	松	西
	高	ノ	ガ								
GK	FP	審	PR	ブ	チ	ヤ	ダ				
											ラウ
											ハ
											ホ
											ス
											2

得006213501250  
 本)藤村本生本駒上瀬賀井山村  
 【日井上山蒲中生池洞志松西高  
 ノガ  
 GK FP 審 PR ブ チ ヤ ダ  
 ラウ ハ ス  
 2  
 19 (2) PT (2) 25

で臨めば、韓国は、アジア選手権、1回戦の連勝で自信をつけた若手FPを、ベテランGK林圭夏で固めてスタートする。

日本は、軽いバスの交換から、山本のサイドシュートで先制すると、井藤のPTセーブをばさみ、西山、蒲生、松井の果敢な攻撃で4点連取し、5対1と固さの見える韓国に圧力をかける。

10分ポストブレイで得たPTを姜泰求が慎重に決めると、両GKの好守から互いに速攻が出、緊迫した展開となる。



韓国第2戦に勝ち五輪への道を開いた

会場がガンバレ日本の大歓声を送れば、訪日応援団の国旗と声援は、好ブレイを連続させた。フロター林英祐、姜泰求、李相考のフェイントから中央へ切り込んでのミドル、外抜きからサイドのDFを誘い出してのノーマーク造りで追う韓国に対して、日本は、蒲生、西山へのマークの逆をつき前回不振の池ノ上が、ロング、カットイン、速攻と大車輪の働きを見せ、一進一退となるが、韓国のミ

スから松井、中本の巧ブロックから山本、速攻と3連取のスパートをかけ、退場者を出すも14対9で折り返す。

後半に入ると姜徳寿のポストで追えば、快調池ノ上がロングで連取し差を保つが、韓国のスピードに振り切られる場面が見られ主導権が移った4分、林の速攻の前につめた井藤が接触し、負傷退場すると、林、朴秉洪、李で連取の急迫すると、日本は生駒を投入、期待どおり強引なカットインからゲットするもムードは変わらせず、ついに11分崔のカットインで、17対17と並び、1回戦の再現かと心配

させたが、井藤がもどると林のPTを死守し全日本に活を入れる。生駒の得たPTを山本が確実な決めると、セキを切ったように西山、志賀が速攻、山本、生駒、西山のカットインで6連取、試合を決めた。

井藤は勝負どころの12分から25分まででPT2本、ノーマーク3本を見事にセーブし第一人者の力を見せた。

両GKの好守も、ベテラン、若手一体になって活かした日本に対して、自滅した韓国の若さが目についた一戦であった。

この結果、日本は、残す対中国

戦を2点差以上で勝てば、オリンピック出場と王手をかけた。  
 (樋口利郎)

日本、みごとに五輪キップ

日 本 27 (1413 | 146) 20 中 国

「残り3、2、1」三千人を超す大観衆の手拍手と大歓声の中、ロス五輪にむけて、山本主将のストップシュートがゴールにつきささる。試合終了の笛も聞こえないほど、劇的なフィナーレ。選手と観衆が一体となって、ロス五輪の出場権を獲得した好ゲームだった。

先日の韓国戦に快勝し、中国戦を2点差以上で勝てば、ロス五輪アジア代表となる日本は、代表権獲得への気迫がみられ、前半から中国を圧倒する。開始30秒、池ノ上のジャンプシュートで先制、1分にはエース西山のサイドシュートと2点先行する。中国も4分左腕金の中央から高い打点のシュートで応援、しかし日本は、6分山本がPT、7分には大黒柱蒲生が中

先進のテクノロジーで未来を開く

大同特殊鋼  
 代表取締役社長 秋田正彌

特殊鋼鋼材 鍛鋼品 鋳鋼品  
 帯鋼品 工業炉・機器 その他

本社：〒460 名古屋市中区錦1-11-18(興銀ビル)  
 電話 (052) 201-5111(大代表)

央から豪快なジャンプシュートを決め、一気に4対1とリード。中国は8分金から宗へのスカイプレーで流れをかえようとするが、ここで日本は、9分浦生のカットイン、西山がたてつけにカットインやジャンプシュートを決め、守っても、今大会好調の日本の守護神GK井藤の好守と積極的に前に

## ロスでのメダルをめざして

蒲生 晴明

はじめに、ロサンゼルスオリンピック予選に参加できる機会に恵まれ、また、勝ち抜くことができたことを大変にうれしく思っています。この日まで、育てていただいたハンドボール協会関係の皆様はじめ諸先生・諸先輩そして全国のファンの方々にこの誌上をかりて、御礼申し上げます。

さて、予選の半年前に、新生全日本としてスタートをしたわけですが、選手団は、市原監督のもとに「闘争力・集中力」を合言葉に短期間、短時間で中身の濃いトレーニングを心掛けてきました。しかし、何度も何度も、挫折しそうになりその都度、ミーティングで反省をして、約束をつくりそれを実行してきたことが、ロスへの貯金となって、最後には『お金では買えないもの』になっていったと

する攻撃的な防衛で、中国を10分以降散発のみ4点におさえ、13-6日本リードで前半を終了。

後半、中国は日本のパスミスをつき速攻で先手を取るが、日本も中本のポストシュート等で得点をあげ、12分までに19-8と11点差をつけ、一方的な展開になるかと思われた。しかし中国も、金、章、

思います。このトレーニング↓反省↓約束づくり↓実行のサイクルをくり返し、予選に臨んだわけですが、私自身として、こんなにプレッシャーを感じながら大試合を戦ったことは初めてでした。

しかし、スローオフのホイッスルが鳴ると、ファンの方々の会場一丸となった声援と同時に、このプレッシャーは吹き飛んでしまい、トレーニングどおりの試合をするのができたと思います。試合内容については、反省材料は多くあるものの、何といたってディフェンスでの全員の頑張り、トレーニング以上のものが出ていたと思います。改めて、「ディフェンスは守る」のではなく「ディフェンスで攻める」を認識しました。

呉を中心にねばりを見せ、15分過ぎ浦生の自傷退場により、攻守の歯車に乱れを生じた日本のミスをつき、速攻からの速い展開でのポスト、サイドと多様な攻めをみせ、20分までの5分間に6点をあげる猛攻により、満員の場内をわかせる。

## ロス・オリンピック アジア予選を終えて

山本 伸二

今年5月に現ナショナルチームのコーチングスタッフ及びメンバーが新しく生まれ、そして予選が終了した11月20日までの期間のいかに長かったことか！これが今私が痛感している正直なところであり

です。そしてまた、今は安堵感でいっぱいです。名古屋での第1次合宿を皮切りに、徳山、横浜、呉、函館、その他次々と合宿を重ね、その間には、フランスナショナルチームとのゲーム、欧州遠征、ソウルでのアジア選手権、そしてロス予選とめまぐるしく活動した半年間であります。その中で、本場ヨーロッパ勢（西独、ユーゴ）にもまれ、アジア選手権では韓国に敗れ、そしてまた、今回も予選リーグの1回戦で、またしても韓国に苦汁を飲み……といったような短期間のうちにこれほど天国と地

獄を体験したのも今までにはなかったことでした。

今思えば、この「酸いも甘いも」を経験してきたからこそ、今回の予選を乗り切ることが出来た最大の原因だと思います。このことは、日本協会の方々はもちろんのこと、ハンドボールにたずさわること、多くの人々、そして全日本のOBの方々、全ての方々への応援（叱咤激励）のたまもの以外の何のもでもないと思います。本当に深く感謝しております。

これからの事は、現地点では全く考えていませんが、今後、私自身身与えられたチャンスは、最大限生かしていきたいですし、また、やらないといけないと思っております。

今回のこの貴重な体験をもとに、今後一層努力していきたいと思えます。

最後になりましたが、皆様の暖かい御支援、御声援、本当に有難うございました。

今後ともよろしくお願い致します。



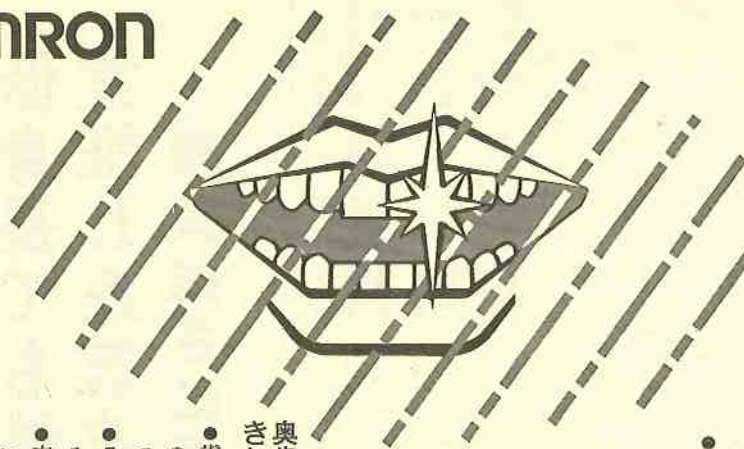
# ひとつのお窓で

ダイワは、信託を併営するユニークな銀行…。  
預金、信託、企業年金、財形、不動産、外国為替など、ひとつの銀行で幅広くお取扱いし、ビジネスや暮らしにキメ細かいサービスをお届けしています。

あなたと明日を  
大和銀行

預金も  
信託も

OMRON



「歯」キヲキヲ

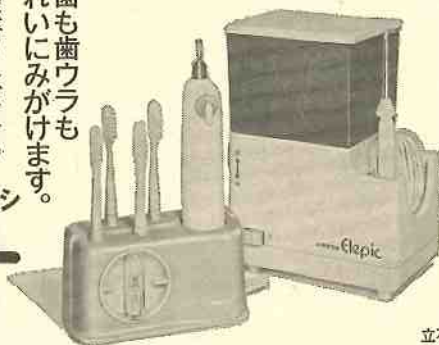
シャワーで一日の汗を流すように、  
歯のよごれを落としてシェイプアップ!!

ジェット水流が  
歯と歯ぐきを  
守ります。

- ジェット水流が歯ぐきの健康にいい適度な刺激を与えます。
- 食べカスを洗い流し、口臭を除きます。
- 水流はゆるくも、強くも調整できます。

奥歯も歯ウラも  
きれいにみがけます。

- 歯医者さんおすすめの、正しいみがき方ができます。
- 7倍の速さでみがけるローリング式です。
- 充電式だから、旅行にも便利です。
- 歯みがきの時間のわかる砂時計つきです。



オムロン 電動歯ブラシ  
エレデント

HT-B10 ¥6,480

オムロン 口腔洗浄器  
エレピック

HT-J11 ¥14,500

立石電機株式会社 〒616 京都市右京区花園土堂町10

molten



MTH3 検定球  
● 検定球 ● 天然皮革



ごらんください。独特のリブ形状とパネル間段差。この「32面体 nonslip 構造」で確かな手かかりをつくりだしたモルテンハンドボールは、さらにナイロン糸巻構造を託こし、すばらしい耐久性、真球性をも実現して、日本ではじめて国際ハンドボール連盟(I.H.F.)公認を獲得。ハンドボールの圧倒的な人気と信頼を集めています。

● 日本ハンドボール協会検定球 (J.H.A.) ● 国際ハンドボール連盟公認球 (I.H.F.)

モルテン  
ハンドボール

株式会社 モルテン  
東京本社 東京都墨田区横川 5-5-7  
〒130 森 (03) 625-7581

「手がかり」が見えた!

独自の32面体  
nonslip 構造で、圧倒的人気を誇るモルテンハンドボール

# ◆全日本学生選手権大会総評◆

## 低身長でも勝てることを

## 実証した筑波大

## —勝負強さに面目躍如の日体大

男子

女子

男子第26回、女子第19回全日本学生選手権大会は、昭和58年11月16日から20日まで仙台（宮城県スポーツセンター・仙台市勤労者体育館）で開催され、男子は筑波大学が初優勝し、女子は日本体育大学が2年ぶり12回目の優勝を遂げて閉幕した。

### ハンドボールのおもしろさ を見せてくれたインカレ

学生ハンドボールのよさは、若さの爆発と豊富な練習量からくるスピードと高度なテクニクである。最近はそのに加えてワンハンドプレーがすっかりと身につく、それがフットワークやボディコントロールの新たな技術を引き出してきている。ゲームはスピード化と多彩さに拍車がかかり、よりおもしろくなってきている。男子についてはワンハンドプレーが、全

国的に定着したことによって競技力もかなり接近してきている。もう抜群に強いというチームはなくなり、その日の調子があるいはちよとした作戦の当り外れが勝負の分かれ目となるようである。ここ数年のスコアを見ればそのことはわかることである。

今回のゲームでは、男子準決が2試合とも延長、決勝は1点差、昨年は準決、決勝とも1点差の試合を演じている。ゲームのおもしろさは、技術や戦術のすばらしさからくるものと勝負がどちらに転ぶかわからないという緊迫した状況に追い込まれることの両者が一体化すれば、こんなにおもしろいものはないであろう。

ここ数年はそのような状況が続いている。これは先に述べたように技術が全国的に向上したことやハンドボール競技が普及し、大学

まで進んでやる人が多くなったこと、また、指導的な立場の人が増したからであろう。あるいは情報ビデオ等から容易に入れられることや、インカレの出場チーム選抜方法が1980年から変更されたことからくるものかもしれない。いずれにしても白熱する接戦が多く、プレーヤーも観衆もゲームのすばらしさを十分に味わえることのできるものである。女子は、男子に比べ、得点の上からは、実力差というものが感じられ

る。ここ5年間の成績をみても昨年を除いて決勝は全て5点差以上開いている。準決勝の試合をみても、今年は点差こそつまっているが、前半で、かなり開かれてしまっている。ここ数年の準決勝をみても点差の開くゲームが多い。女子は、そういう点で、ベスト4に残るチームであっても、まだ実力

差にバラツキがあると見ても仕方ないことであろう。

勝負のおもしろさ、技術のすばらしさを十分にを見せてくれたインカレではあったが、今後ますます学生ハンドボールが発展するためには、もっと遠い位置からシュートできるロングシューターの養成が必要であろう。そうすれば狭いところを割り込み、素人目にはわかりにくい状態で得点するより、エリアにへばりつくディフェンスにはロングシュートを放ち、ディフェンスがつめてくれば、エリア付近のゾーンを使ってポストプレーで得点するなど、素人目にもわかりやすく、しかも効率の高いハンドボールが出来るものらしいハンドボールになると思う。

### コンピネーションとディフェンス力の筑波大

関東大学春季リーグを7戦全勝で優勝しさい先よいスタートを切った筑波大も、東日本インカレ、秋のリーグ戦で低迷し、このままかと思われたが、筑波大学の特徴であるスピードあるコンピネーションと激しくピストンするディフェンスコンピネーションが復活し見事に優勝を手に入れた。2回戦の大阪体大、準決の慶応、決勝の日大戦どれをとっても薄氷を踏む思いの勝利であった。

キャプテン吉兼と攻撃ではセン

タープレーヤー杉森とディフェンスでは原井らが中心となり、よくまとまっているチームである。朝生が攻撃専門プレーヤーとなり、田中がディフェンス専門プレーヤーとしてメンバージュンジシ、角一武井らがロングシューターとして組織的な動きをしていた。

個々プレーヤーの頑張りがあるがチーム戦術のなかでよくまとまりねばり強さを発揮した。全ての試合で緊迫するゲーム終盤に、それまでは調子の上がないロングシューター武井が、ラッキーボーイの役を演じチームの暗を明に導いた。

攻撃専門プレーヤーの朝生もよくその役割を務め、迫力あるサイドからのシュートをゴールインさせた。また低身長のG.K山崎（170cm）もディフェンスの健闘によくこたえて好守し、勝負どころのノーマークをよくさばっていた。筑波大学の平均身長は174・7センチであり大型化するハンドボール界にあって、低身長でもやれるということを実証してくれたことは有意義であった。

2位日大は4度目の決勝進出であるが、またしても王手をかけながら惜しいところで優勝をのがしてしまった。

決勝では、残り時間わずかなところで逆転し、そのまま優勝するかに見えたがノータイム寸前に決められ万事休した。コントロール

タワー田口を中心に、そのフェイント力とパスプレーを効率よく使い、1対1突破のうまい金原と他のポジションにシュート力あるプレーヤーを配した布陣は、パラレルにフォローする戦術をよく生かし、日大独特のチーム戦術を作り上げた。この2チームにつづく慶大、中央大も上位に一步もひけを取らないチームであった。慶大は石塚、平林、山口を中心として、慶応独自の緻密さと迫力を作り出していた。これはともすればハンドボール経験の不足している慶大を支えるに十分足るものであった。

中央大学も秋季リーグ戦で優勝するなど本来の力を發揮するまでにチーム力は上昇していた。実方の力強い大砲、清家―大谷による絶妙なポストプレーは見ごたえのあるものであった。

この他目立ったところでは、西日本・秋リーグ優勝の同志社大学は、エースロングヒッター宮下を中心に、準々で延長で慶大に破れたものの、5位となり全日本総合の出場を決めた。

九州代表の福岡教育大学は、インカレ史上男子としては初めての九州地区ベスト8入りを果たした。準々決勝で日本体育大学を破つたものであるが日本体育大学は監督、コーチがオリンピックアジア予選で不在で不安定だったとは言え、よく勝利をものにした。これ

に対しここ2年間東海地区、男女ともベスト8から姿を消していることは、淋しい限りである。

### 力強さと勝負強さの女子 優勝校日体大

昭和49年までの日体天下後は、東京女子体大や筑波大学の台頭があり、近年、優勝に恵まれることが少なかった。今回のインカレでは、力強さと勝負強さの日体の面目躍如たるものがあり、多少の勝たつきはあったものの危げなく勝ち進んだ。リードオフマンの小口を中心に左腕のロングシューター

山本と1対1に強い大野をフロウターとして配し、池内、宮田、呉田のサイドポスト陣がよく動き、スキのない攻撃力を發揮している。ディフェンスは1対1を重視した守りでプレッシャーをかけ相手を追いつ込んでいた。接戦となる筑波大や大体大のゲームでは予想に反し前半で勝負を決めている。よく動き激しく守り速攻を決め点差を開いていった。今大会で特に目立ったのは大阪体育大の存在である。個々プレーヤーの個性と技術は、女子ハンドボール界に新しい風を送ったと言つてよい。それぞれのポジションに個性のあるプレーヤーを配し、しかもスケールが大きく技術的にみても、ワンハンドプレーを確実にこなしている。伝統的なプレーからもう一步

脱皮できない女子界にあって大阪体育大学としての個性を十分に確立していた。そういう面では破れたとは言え、今後に期待をいだかせたチームであった。

3位になった東京女子体育大学は順調にその力を伸ばしているが優勝を狙うには、決定力がまだ足りないようだ。4位に終わった筑波大学は、もたついたままで終つてしまふ本来の力から言えば優勝に最も近い位置であったが、その力が發揮されず残念であった。

### レフェリングについて

最近のハンドボールをさばくには、非常に高度なレフェリングテクニックを必要とするようになつた。レフェリーのゲームに対する考え、技術に対する考え、そして判定に対する規準を統一しないことには、不安定な状態にゲームが置かれることは避けられないだろう。今大会で目についたレフェリングについて書いてみたい。

#### ◎GKの顔面シュートは退場

全日本学連のみ採用しているルールであるが、危険の防止から望ましいルールであるといえる。日本人の顔面というのは、能面のようにつるりとした表面に鼻骨がついており、目はボールが当れば直接的に衝激を受けるようになってくる。西洋人は、T字形にとびでたおでこ鼻で目が保護されてい

るので、ボールが当たっても日本人ほど衝激を受けない。GKで目を負傷する人は多い。安全面だけでなくGKの顔にボールを当ててプレー続行というのは日本人の道徳感とも合わないようである。

#### ◎フリースローか退場か

一昔前はペナルティフリースローを宜するのが非常に重大なことと考えられ、そのケースであってもフリースローでおさえられるといたことがあったが、現在では、そういうことはなくなりペナルティの規準もかなり一定してきた。ただ退場や失格になるケースになるとまだゲームの進行状態によつてちゅうちょする面がみられ、故意の反則を助長していることがある。オリンピックアジア予選で、外国の審判が、速攻のチャンスに故意的な反則をしたプレーヤーに對してあっさりレッドカードを出していたが、なるほどと思われるものであった。激しくても正当なプレーは伸ばしていかなければならないが、故意であつたり、プレーヤーを危険にさらすプレーに對しては、あっさりと重罰を課し、パワフルでエキサイティングであるけれどもクリーンで見よいハンドボールをレフェリングで育てる必要があると思われた。

#### ◎チャージかブッシングか

だいたい、チャージの反則を見られるレフェリングが増え、ディフ

エンスの正当な技術が見きわめられるようになったが、時として、あいまいな判定があり、もう少し着実にチャージングの笛が吹けるようになれば、ディフェンスの技術も向上し、つかんだり押ししたりという反則は減少すると思われる

#### ◎ストリーキングについて

今回、ストリーキングの笛が目についた。それは、今までは攻めていさえすれば、それが有効であろうとなかろうとストリーキングになることはなかった。今回は、攻めていても、ディフェンスを崩すことができず、ディフェンスが優位に立った場合は、ストリーキングの判定が下されたためだと思われる。ハンドボールのディフェンスは、相手がシュートを打ったりミスをしない限りなかなかボールを奪えない特性を持っている。守つてもフリースロー、フリースローでつなぐれ結局はちよつとしたミスでシュートにつながれるということが多い。パスケットのように30秒ルールがあればよいのだが、それが無い以上、ディフェンスが優位に立つ時間が長くなれば、所有権を移すというのは、ディフェンス力を評価することになり、またゲームのスピード化に貢献することになるだろう。これは審判員に高度なテクニックを要求することになるだろうが、ぜひとも發展させてほしいものだと思われた。



# 男子第26回・女子第19回 全日本学生選手権大会

## 筑波大(男子)初の栄冠に輝く

### 女子は日体大が12回目の優勝

#### ★男子

▽1回戦

早稲田大 27(1512|12) 20 学院大 北

得004233500300  
 北藤田場悟藤木西寺啓賢浩野  
 【東】佐原大荒齊鈴小野藤原川  
 【西】菊岩加古谷江岡小志平  
 得0561014010000  
 早稲田大 27 (1) PT (4) 20

○：立ち上がり、東北学院が2対1とリードしたが、5分過ぎ谷藤のシュートで同点とした早大が、その後、5連続得点して一気に逆転、流れをつかみ加藤の打点の高いシュートなどで前半を12対

8とリードして終了。後半、東北学院は早大が退場者を出している間に2点差まで詰め寄るが、早大のハードチェックに攻めあぐみ、再び引き離される。

天理大 37(2116|109) 19 信州大

得000440213410  
 信州大 19 (4) PT (0) 19  
 【信】瀧野山沢泉原沢田藤崎村  
 【片】西水小柳森小相平伊岩吉  
 【天】志島前玉 浦 池本田野森山村  
 得0010517111740  
 天理大 37 (4) PT (0) 19

○：立ち上がり、シーソーゲームを展開したが、天理大・小池の連

続ゴールにより天理大のペースにて進行。信州大はミスが目立ち単調な攻めで天理大に速攻を許し、前半終了直近反撃するも7点差にて前半を終る。後半、天理大のスピード豊かな速い攻撃で差は広がって行き、信州大の反撃もシュートミスが多く、天理大の一方向的なゲームとなる。

筑波大 48(2325|7) 11 北海道大

○：北大森林を中心によく攻め

男子26回、女子19回を数える全日本学生選手権大会は、11月16日から20日までの5日間、宮城県スポーツセンターを中心に開催された。優勝争いは関東各校が激しい戦いをくり広げたが、男子は筑波大が初の、また女子は日体大が2年ぶり12回目の栄冠に輝いた。

得010062100010  
 北海道大 11 (1) PT (2) 11  
 【北】山月田林郷本屋橋堀橋  
 【小】島望島森本山土高大石  
 【野】山吉安原朝平 杉田武田  
 得00186074147  
 筑波大 48 (1) PT (2) 11

るが、ポストで合わせる者がいなく単発なシュートになり、筑波大の速攻を誘発する。

筑波大のタイミングをずらしたシュートを北大GKが防ぎきれず、前半13分ベナルティーで1点を得るまで11-0と一方向的なゲームになる。

筑波大・原井を中心にした走りど速いパスワークにはんるうされる。筑波大は前半残り10分より後半を通してメンバーを落とし、楽に勝利をおさめる。

中京大 30(1416|7) 16 東海大  
 得000344238510  
 【中】木見植辺井原塚辺巻木木口  
 【中】柿宇栢池今河犬渡酒青桐谷  
 【高】石福菅渡窪江中大稲山田  
 得007310021101  
 東海大 16 (1) PT (5) 30

○：前半、中京大は東海大のミスから確実な点をあげていった。

セットからは河原、酒巻のロング今井のサイドからのシュートによる得点。一方、東海大はミスが多いながらも菅田のロングからのシュートにより得点をあげ、前半16対9と中京大リードで折り返した。

後半に入っても、東海大はパスミスが続出し、ノーマークシュートもはずすなど中京大の有利なゲーム運びが見られた。中京大は後半からGK宇佐見の好守が光り、また速攻による今井、大塚の得点で東海大を引き離した。

中 大 46(2521|7) 20 和歌山大

○：関西リーグ二部優勝の和歌山大が前半よく健闘したが、地方に勝る中京大が、実方一清家らの口

得0007164011000	大	【和】	宮芝坂中西松宮福山浅真照	審・青木	濱田	20
得00563350010000	大	【城】	藤見村田原山戸田瀬橋山下	審・新橋	南波	20
得0011060602122	大	【村】	川方谷駒藤家山間田木木	審・青木	濱田	20
得006221054250	大	【中】	木宇実大生安清小内松大茂	審・青木	濱田	20
得00150038100531	大	【法】	山羽高今水関佐藤田核	審・南波	野	27

ングシュートで次第に引き離し、勝負を決めた。

得001060602122	大	【台】	藤本月橋上藤村木中川辺野	審・青木	濱田	20
得0011216200450	大	【福】	岡田並塚庭口田流田野田	審・青木	濱田	20
得0011216200450	大	【福】	柴柿石大野池大村板上	審・青木	濱田	20

○：初戦のためか、両チームとも動きが悪く攻めも小さい。前半中盤までは五角の戦いだったが、速攻のある福岡が2点リードで前半を終る。

後半開始から福岡は動きがよく連続ゲットで大きくリード。全員がよく走り、得点力を持っているのに対し、仙台大は攻めも単調でノーマークシュートもGK陣に巧守され逆速攻につなげられてしま

得00563350010000	大	【法】	政田深昇茂井江根伯井倉井	審・新橋	南波	20
得00150038100531	大	【法】	山羽高今水関佐藤田核	審・南波	野	27

○：前半、五角の攻防で両チームとも決め手を欠きボール回しの割には得点の少ない展開となった。名城の2：4のディフェンスに法政は攻めあぐんだが、名城の雑なディフェンスに助けられ2点リードで前半を終了した。後半になって名城は攻撃が単調になり、法政のディフェンスを崩せず点差が広がった。名城のラフなディフェンスが目立った。

得0022675006200	大	【京】	都宮本田原木田谷野士泉野木	審・今関	野	28
得0007132200002	大	【愛】	岸武萬川神園小滝四田開	審・今関	野	17

○：試合開始早々、京産大が4連続得点をあげ楽なゲーム展開に

得00111019305000	大	【同】	社渡花山田宮鈴奥児岩三江酒	審・岡本	清水	31
得00112130305000	大	【早】	西菊岩加古谷江岡小志平	審・岡本	清水	30

○：前半、同志社ペースで試合が展開されるが、早稲田も必死に追いかけて1点差で前半終了。後半に入り、両チームともに速攻を中心にシューティングとなる。しかし、15分過ぎ同志社がよく走り4点差。早稲田もシュートまで持っているが同志社GKの好守にあい得点できず苦しむが、残り5分同志社の宮本をマークし着々と差を縮め30秒前同点とし延長に入る。延長もすばらしいゲームで両チームの健闘をたたえたい。

慶大 24(1212|19) 16 天理大

得003203001520	大	【天】	志島前玉浦小松正亀杉中高	審・青木	濱田	16
得0020011001037	大	【慶】	原木塚磯語口村中辺沢林岡	審・青木	濱田	24

○：前半両チームともセットプレー、速攻による得点で接戦となった。慶大は山口のサイドシュート、平林、高岡のロングシュートによる得点。一方、天理大は前出のダブルスカイ、中山のサイドシュートによる得点で追い上げを見せ、12対9と慶大リードで前半を終了した。後半に入っても、慶大は高岡、キャプテン石塚らの得点により天理大を引き離した。結局24対16で慶大が勝利を納めた。

○：10分過ぎまでお互いにGKの好守もあり得点が入らず、大体大・西村サイドからの廻り込みより先取得点、以後同点、逆転を再々くり返し筑波10対9で前半終了。後半、大体大・大塚のサイドシュートで同点とするが、筑波も朝生のルーブシュートで1点差とす

国内遠征、海外遠征  
旅のすべてを  
演出します。



旅のplan do see  
旅には三つの楽しさがあります。  
出発前の計画を練る楽しさ、  
自然や風俗、人間にふれる楽しさ、  
そして尽きぬ思い出の楽しさと。

**京王観光**  
新宿旅行センター

〒160 東京都新宿区西新宿1-16-4  
☎03-346-0061 担当：入江  
海外事務所 シンガポール(KE10-SCA)

得008100322040  
 大橋野村野間山間賀木原塚村  
 体高小西長佐杉小古坂土大山  
 【大橋】 GK (審・青木 浜田)  
 波) 田崎兼藤井生 森川井中田  
 筑野山吉安原朝 角 杉田武田八  
 得0020073104000  
 22 (0) PT (3) 20

る。後半も1点差を争う試合運び  
 で、16分過ぎより筑波4点差のま  
 まいくかに見えたが大体大・西村  
 カットインから逆速攻でベナルテ  
 イーを得、その後、3連続得点と  
 頭張りをさせる。最後まで息をの  
 むゲームであったが、筑波・武井  
 のサイドシュートが2点差駄目押  
 しとなり終了。お互いにディフェ  
 ンスのラフプレーが目立ったが、  
 シーンゲームには見るものがあ  
 った。

国士館大 29 (1514 | 1314) 27 中京大  
 得000216615600  
 中木見植辺井原塚辺巻木木口  
 京佐  
 【中木】 GK (審・武田 林)  
 土) 邊崎田柳垣丸村藤松田木引  
 得【渡大池青新金田内有吉鈴綿  
 0092210730025  
 29 (6) PT (6) 27

○：前半立ち上がり、攻撃にリ  
 ズムがなく防衛の甘い国士館に対  
 し、中京は良く走り、リズムも良

くサイド、ミドルが決まりリード  
 したが、中盤から国士館のGKの  
 好守から速攻が決まり同点で前半  
 を終了した。後半、サイド、ポス  
 ト、速攻で得点を重ねた国士館に  
 対し、ロング、速攻で得点した中  
 京であったが、わずかに国士館の  
 得点がまさり2点差で勝利をもの  
 にした。

中央大 30 (1614 | 1312) 25 工業大  
 得002000308624  
 工垣城原地溝村場崎市城取原  
 【新玉】 GK (審・小友 谷藤)  
 宇下川山馬小高宮河  
 得【中木】 GK (審・小友 谷藤)  
 0013101733020  
 30 (4) PT (2) 25

○：予想どおりの接戦となっ  
 た。試合は前半から一進一退の好  
 ゲームとなり中大の2点リードで  
 前半を終えた。しかし、後半にな  
 ると中大はエース実方のミドルが  
 決まりだし一歩リード。中部工大  
 もダブルポストからのミドルで食  
 い下がり後半16分には1点差まで  
 追い上げたが、結局は5点差で中  
 大が逃げ切った。きびきびしたス  
 ピードのある好ゲームであった。

教育大 岡 28 (1315 | 1412) 26 体育大  
 得007534000630  
 福田塚塚口田 岡田野井  
 福鶴 柴柿石大野池 林 建村板松  
 【福鶴】 GK (審・岡本 清水)  
 川野中木川鳥部田本井 境 満  
 得【北板田鈴小牧岡鶴河今 財  
 00105220441000  
 26 (1) PT (1) 28

トミスがあり法政が優位に試合を  
 進めたが、20分頃から得点の取り  
 合いとなりロングを持つ法政が前  
 半リードした。後半、多彩な攻撃  
 で攻める法政に大阪大はディフェ  
 ンスに甘さがあり得点を許した。  
 しかし法政もディフェンスが甘く  
 点の取り合いとなり結局法政が逃  
 げ切った。

○：前半福教大は、日体大の単  
 発な攻撃やパスミスからの速攻で  
 確実に得点をあげた。しかし大切  
 な所でノーマークシュートははず  
 した。一方、日体大はキャプテン  
 田中がポストでのシュートを確実  
 に決め前半は15対12福教大リード  
 で終了した。後半に入り、日体大  
 のミスにより一時は5点差と福教  
 大がリードしたが、残り10分で日  
 体大が追いついた。結局ミスの多  
 かった日体大が攻め切れず28対26  
 で福教大が勝利を納めた。

法政大 29 (1514 | 1710) 27 大阪大  
 得0076001506640  
 政田深昇茂井 村江伯井倉井  
 政良 辻之野  
 【法山】 GK (審・青木 浜田)  
 山羽高今 木水佐藤田桜  
 得【立長崎坂山谷木田野田本  
 003040560117  
 27 (2) PT (5) 24

○：立ち上がり、大阪大にシユ

日本大 31 (1813 | 912) 21 産業大  
 得00814100530000  
 大田田口崎村藤林藤原田川 岡  
 【日森】 GK (審・半田 菅野)  
 宮本原本田谷野土泉野木  
 得【成福】 GK (審・半田 菅野)  
 0065500500000  
 21 (2) PT (3) 31

○：試合開始早々京産大が3対  
 1で先行し日大がこれを追いかける  
 形で進み、流れは京産大ペース  
 になった。早いバスタイミングか  
 ら辻本のミドルで攻める京産大に  
 対し、内藤のロング、田口の巧技  
 でせまる日大、1点を争う接戦と  
 なった。後半10分過ぎから日大は  
 やつとリズムに乗り、得意のコン  
 ビネーションプレーを發揮しはじ  
 め、15分には4点差をつけそのま  
 ま押し切った。京産大のスピーデ  
 イなゲーム展開が印象に残る試合  
 であった。

大阪大 29 (1514 | 1710) 27 大阪大  
 得0076001506640  
 政田深昇茂井 村江伯井倉井  
 政良 辻之野  
 【法山】 GK (審・青木 浜田)  
 山羽高今 木水佐藤田桜  
 得【立長崎坂山谷木田野田本  
 003040560117  
 27 (2) PT (5) 24

実績と信頼の公式試合球

# イルマボール



ALLOVER THE WORLD  
**IRUMA**  
 ハンドボール

日本ハンドボール協会検定球 HL-3, HL-2

入間川ゴム株式会社  
 東京・埼玉・大阪・名古屋

▽3回戦

慶応大 21 (1011 | 8 | 10) 18 同志社大

得002470300200  
社井田嶋下木畑玉本幸南井

【同】波花山田宮鈴奥児岩三江酒  
志渡大池青新金田内吉錦綿

得004002101535  
慶上青石小余山津田渡平高今

○：同志社・奥畑のペナルティで先得するも慶応も山口のシュートで応戦。その後、同志社・宮下、三幸のシュートで加点するのに対し、慶応もバスケットからの速攻で加点し、一時同志社にリードを許したものの高岡、平林の3連続バスケットからの速攻で同点、今井のポストで逆転し前半を終了。後半に入っても、シーズンゲームとなり白熱した展開となるが、残り7分同志社ペナルティを落とすあたりから慶応ペースとなり、同志社・宮下の再三のロングシュートもどかす慶応の勝利となった。

筑波大 23 (1112 | 8 | 6) 14 国士館大

○：お互いに手の内を知り尽くしているだけに前半立ち上がりは攻めずらそうだった。中盤より速攻

得006054510110  
波田崎兼藤井生 森川井中田

【筑】野山吉安原朝 杉田武田八  
角

得0040011500003  
国渡大池青新金田内吉錦綿

得004002101535  
慶上青石小余山津田渡平高今

○：同志社・奥畑のペナルティで先得するも慶応も山口のシュートで応戦。その後、同志社・宮下、三幸のシュートで加点するのに対し、慶応もバスケットからの速攻で加点し、一時同志社にリードを許したものの高岡、平林の3連続バスケットからの速攻で同点、今井のポストで逆転し前半を終了。後半に入っても、シーズンゲームとなり白熱した展開となるが、残り7分同志社ペナルティを落とすあたりから慶応ペースとなり、同志社・宮下の再三のロングシュートもどかす慶応の勝利となった。

中央大 30 (1515 | 7 | 10) 17 教育大

○：前半立ち上がり、中央大のディフェンスの甘さから福岡は石塚、板野のミドルシュート、柿並の速攻による得点。一方、中央は実方のロング、大谷のポストから

の得点。前半中央のミスが目立っていたが15対10と折り返した。後半に入り、中央大実方の連続5ポイントを含む幅広いプレーで開始10分に8点差となり試合の行方は7割方決まってしまった。以後両チームともミスは出たが得点力の勝る中央大が30対17で勝利を納めた。

日本大 24 (8 | 16 | 9) 18 法政大

得002400160410  
政田深昇茂井 村江根井倉井

得004001010105001  
日森宮田河内加金武嶋浜 岡

○：前半、ディフェンスの良い日大が良く守り、攻めでも金原のカットインからの得点が光った。また田口の絶妙なパスをポスト田崎が得点するなどのコンビも見られた。一方、法政も良い攻めをするがGKの好守に阻まれ、20分過ぎくらいから、水之江、藤井のロングが決まり始めたが前半は16対9日大リードで終了。後半は、両チームとも得点の取り合いとなり前半の得点差がそのまま最後まで響き、24対18で日大が勝ちを納め準決勝戦へ進んだ。

筑波大 18 (4 | 11 | 7 | 6 | 5) 16 義塾大

○：立ち上がり、筑波大は朝生のサイドからの得点で先取したが、慶大も平林のロングなどで逆転、しかし、筑波は角が得点を決め6対5と少差で前半を終了した。後半に入っても、両チームとも得点の取り合いになり、残り5分筑波が3点リードしたが、慶応は残り1分で同点とし延長戦になった。延長に入ると慶応・平林、高岡が続けて退場し、この間に筑波・武井が得点し結局18対16で勝ち準決勝へ進んだ。

日本大 28 (3 | 11 | 5 | 9 | 1 | 0 | 2 | 14 | 10) 26 中央大

○：中大・大谷の右サイドからのうかして先行するが、すぐに日大が同点とし両チームともに白熱した試合となり前半10対9と中大

日本が生んだ世界のボール  
日本ハンドボール協会検定球 (J・H・A)



タチカラニムレスボール

タチカラのハンドボールは縫ボールと同じ構造のチューブが離れたL・B・C中空製法です。

TACHIKARA タチカラ株式会社

得004146085000	大田田口崎村藤原田川田
【森宮田田河内加金武嶋浜 岡	
GK	(審・岡本)
FP	(清水)
得0076020300030	【村川方谷駒藤家山間田木木
【木宇美大生安清小内松大茂	
得0076020300030	
(3) PT (4)	28

1点差で終了した。後半に入っても、前半同様1点を争う好試合となり、29分日大・河村がポストシュートを決め逃げ切るかに思えたが、中大も右45度からのカットインでペナルティを得、実方これに決めて延長戦となった。延長戦に入った前半、中大ポストと速攻ペで2対1としたが、後半開始早々ナルティを得た日大が同点とし、その後、田崎のポストと内藤のサイドシュートを決め2点差で逃げ切った。

義塾 大 21 (1011   9) 17	中央大
得0064013100020	【村川方谷駒藤家山間田木木
【木宇美大生安清小内松大茂	
GK	(審・小友)
FP	(谷藤)
得0000043000833	【原木塚磯語口村中辺林岡井
【慶上青石小余山津田渡平高今	
得0000043000833	
(3) PT (3)	17

○：慶応大出足よく平林のロング、高岡の速攻等で3対0とリード。中大ポストプレーで追いつがるも、11対9で前半終了。後半開始早々中大・実方の働きで同点に追いつくも、20分実方負傷の間に慶応・平林たて続けに4点を決め試合を決定する。

○：前半立ち上がり、筑波大は朝生のサイドシュートなどで得点、15分過ぎぐらいで武井のロングも決まりました。一方、日大は筑波大のディフェンスの甘さから金原のPTで得点、武田、内藤ら

▽1回戦	
筑波大 31 (1912   5) 8	岩手大
得0018433103380	【筑波保谷口原木田田柳賀田川
【久藤山河鈴山池高伊中市芥	
GK	(審・今野)
FP	(審・今野)
得003310222000	【岩手文藤村原市葉口昌森
【菊池工川藤種千田菊大	
得003310222000	
(2) PT (2)	31

得0010362103000	波田崎兼藤井生 森川井中田
【野山吉安原朝 杉田武田八	
GK	(審・菅野)
FP	(審・菅野)
得00101300730000	【大田田口崎村藤原田川田
【森宮田田河内加金武嶋浜 岡	
得00101300730000	
(4) PT (0)	16

のロング、カットインなどで点を重ねた。後半に入っても両チームとも1点が貴重となるゲーム運びとなった。日大は金原の切れのよいカットインからの得点、筑波は朝生のスカイプレーなどで得点をあげた。日大は残り1分で同点としたが、筑波大の武井が残り10秒で決勝点をあげ優勝を決めた。

明徳 大 22 (139   1011) 21	中京大
得001111121110000	【福岡赤田尾栗佐山増長延宮沢本
【木川木林野田田野岡川辺多	
GK	(審・新橋)
FP	(審・南橋)
得001111121110000	【福岡赤田尾栗佐山増長延宮沢本
【木川木林野田田野岡川辺多	
得001111121110000	
(2) PT (4)	33

選手の少々荒い守りに得点が止まり、たちまち逆転されて11対9と中京のリードで前半終了。後半になると細かく動く千葉明徳が、笹津、石塚の得点で同点とし、以後最後までシーソーゲームが続いたがタイムアップ直前、千葉明徳がペナルティスローを得て決勝点をあげ勝利をものにした。

日体大 33 (1419   5) 8	福岡大
得0033304034709	【日野野瀬内田原田本 嶋口岡野
【小広池吳石宮山 上小吉大	
GK	(審・五島)
FP	(審・会田)
得0055251300000	【京戸谷野田村野野中河田山
【三板牧富稚浅杉田古山帰	
得0055251300000	
(2) PT (5)	22

○：前半開始30秒、日体大・小口のロングシュートで先制、その後カット、パスミスからの速攻で着々と得点を重ねる。一方、福岡大の一生懸命攻めるも決め手がなく、18分ようやく長野のサイドカ

武庫川 大 22 (111   4) 5	茨城大
得00522153211002	【川宅本私保山山 洲橋加田
【武三岡神久岡茂 池大神西	
GK	(審・勝山)
FP	(審・加藤)
得0071100020000	【京井鹿保村田田野田野浦崎
【浅入大野山吉杉池前波杉尾	
得0071100020000	
(3) PT (12)	36

○：スピードに勝る武庫川の一方的な試合で終わった。武庫川は全員が走りまくり、速い攻撃で得点をあげた。一方茨城大にとっては苦しい試合となったがよく頑張り少ないチャンスをもにし得点をあげた。

東京女子 大 36 (1719   4) 11	女子大
得0014121524331	【女川坪山川井脇池藤原島畑谷
【中大内妹酒宮小佐藤田大加	
GK	(審・五島)
FP	(審・会田)
得0071100020000	【京井鹿保村田田野田野浦崎
【浅入大野山吉杉池前波杉尾	
得0071100020000	
(3) PT (12)	36

### ★女子

東女体大の固い守りを破れず大差がついて終る。

教育 大阪 21 (129 | 9) 15 教育 大阪

得0 15 0 0 3 1 2 0  
福岡 田田塚田和口本

【白】額富大柴千田橋  
【審・新橋】

【GK】村本崎山田川見中植長倉島

得0 0 4 5 0 0 3 0 1 0 0 2  
【大】鬼橋芝丸村西塩田大生小中

○：前半より白熱した好ゲームを展開したが、中盤から福岡のミドルシュートが決まりだしペースを握る。後半も福岡は足が長く動き点差を広げた。両チームともきびきびした好ゲームであった。

日本女子 26 (141 | 2) 7 山口大 体育大

得0 0 4 2 2 0 7 2 1 1 3 4  
【日】佐田金大川塚土矢安浜北常

【F P】審・小池

【GK】田 達木崎田賀永

得0 0 3 4 0 0 0  
【山】肥 阿藤岡戸吉福

○：本大会参加校中最少人数で出場の山口大、ゆっくりしたボール回して健闘するも、日女体大の金井を中心とした速い攻撃と堅いディフェンスに如何ともしがた

し。最後までがんばった山口大に拍手を送りたい。

体育 大阪 32 (1517 | 105) 15 学芸 東京

得0 10 0 0 0 0 2 0 2 0 1  
芸野 岡原崎田 池柳野藤崎

【学】片藤宮和 小一岡後石

【GK】田村勢里川井月上山本田辺

得0 0 4 0 0 2 0 11 4 3 8 0  
【大】吉野伊大小筒望池森橋藤渡

○：前半開始から10分位までは大阪体大に固さがあり五角の戦いだったが徐々に力を出し差がついた。東京学芸大は片岡の健闘も素晴らしいが他のプレーがうまくかみあわず一人の活躍が光る。後半も大阪体大の動きのあるプレーが続き小柄な東京学芸大では守り切れず大差で勝敗を決す。大阪体大の動きのあるプレーは素晴らしい

▽2回戦 筑波大 25 (1213 | 8) 15 千葉明德 短期大

得0 0 0 5 2 3 0 0 1 2 0 2  
【葉】元岡藤津塚所根島野野山岸

【F P】審・加藤

【GK】保谷口原木田柳賀田川川永

得0 0 1 5 5 0 0 2 5 3 4 0  
【筑】久樽山河鈴山高伊中市芥吉

○：筑波・市川のロングシュートで先行、その後、明德・上野ミドルシュートで同点、20分過ぎまで一進一退が続く筑波がペナルティを落とし、このまま前半を終了するかに見えたが、地方に勝る筑波の芥川、河原の速攻で連取し前半を終了した。後半に入っても、攻め手を欠く明德から得点を重ねる筑波に対し善戦するも力及ばず。

体育 日本 29 (1514 | 129) 21 女子 兵庫 大川

得0 0 4 4 2 4 0 4 2 1 0 0  
【武】三岡神久岡茂 池大神西

【F P】審・青木

【GK】野瀬内田原田本 嶋口岡野

○：立ち上がり、日体大サウスポー山本がセンターからジャンプシュート。2点目は呉田右サイドからたおれこみを決め日体大ペースですべり出す、武庫川も神並弘を中心に頑張りを見せるが、ディフェンスのファールでペナルティ5本を与え目減気味。また、20分過ぎより得点出来ず、前半日体大14対9のリードで終了。後半に入っても、流れは日体大。

武庫川・仲らの速攻で健闘するが、日体大1年大野の活躍もあり勝ち上がる。

東京女子 22 (1111 | 5) 12 福岡 体育大

得0 0 0 4 0 4 9 0 2 1 0 2  
【女】川坪山川田脇池藤原島村畑

【中】大内妹喜宮小佐藤田二大

【F P】審・谷友

【GK】田田塚田和口本

得0 9 1 0 2 0 0 0 0  
【福】額富大柴千田橋

○：東女体大が速攻、ロング、サイドと着々と得点するが、固いディフェンスに福岡の攻めも額田1人と後続がなく東女体大の壁を破れないまま前半を終了。後半も総合力に勝る東女体大ペースで進むが時折見せるカットインからペナルティをもらい一時16対10まで追い上げるが、東女体大・小池のパスカットなどの速攻で加点し終始東女体大ペースの試合であった。

大阪 33 (1518 | 105) 15 日本女子 体育大

得0 0 9 0 0 4 1 8 6 0 5 0  
【体】田村勢里川井月上山本田辺

【F P】審・新橋

【GK】吉野伊大小筒望池森橋藤渡

【日】佐田金大川塚土矢安浜北常

○：日女体大・安藤の先取点で

得0 0 7 0 1 0 2 0 3 1 0 1

【日】佐田金大川塚土矢安浜北常

【F P】審・南波

【GK】藤中井館村田屋沢藤野井井



# セントラル航空株式会社

運輸大臣登録第287号一般旅行業

本社・営業所 〒104 東京都中央区京橋1丁目16番10号 (芳沢ビル1階)

TEL. 03-562-8931(代)

大阪支店 〒541 大阪市東区淡路町5-26-1

TEL. 06-201-3665(代)

スタートするが、大体大・池上のシュートで返されたあととは一方的な展開となった。日女体大も時々サイドシュートやカットインからペナルティを誘うが、前半大体大18対5と大差で終了。後半は、10分過ぎまで日女体大のペースで試合が進み、また、15分過ぎには大体大2名の退場者があり、反撃のチャンスに見えたが、地力の差は縮めることは出来なかった。

▽準決勝  
日女大 20(13-7) 17 筑波大

得0021012000536  
【野瀬内田原田本 嶋岡野】  
【小広池呉石宮山 上小吉大】  
GK (審・小友 谷藤)  
【保谷口原木田賀木田川川永】  
【筑久樽山河鈴山伊高中市芥吉】  
得001620113300  
17 (2) PT (2) 20

○：前半立ち上がり、筑波のシュートミスなどから日女大は、速攻で得点をあげ一時は6点差まで開いたが、筑波も日女大・吉岡の退場の間にもり上げた。

しかし、筑波・鈴木の痛い退場で、日女大の速攻などを決められ、13対5と日女大大量リードで前半を終了した。

後半に入り、日女大が攻めあぐみ、逆に筑波は河原のスカイプレイを含むサイドシュートで残り10分で2点差まで追い上げた。し

かし、その後両チームとも点が入らず残り2分で日女大池内が3点差とするルーブシュートを入れ試合を決めた。

大坂 18(11-7) 17 東京女子  
得0060000071040

【大野伊大小筒望池森橋藤渡】  
【吉野伊大小筒望池森橋藤渡】  
GK (審・新橋 南波)  
【川坪山川田脇池藤原島村畑】  
【京中大内妹喜宮小佐藤田二大】  
得00333018011000  
17 (5) PT (3) 18

○：大体大の固いディフェンスとキーパーの好守にはばまれなかなか得点出来ない東女体大に対し、大体大は藤田のジャンプシュートを軸に着々と得点を重ね、前半11対5とリードのうちに終了。

しかし、東女も後半に入り立ち上がり、4連続得点を追い上げ緊迫したゲーム展開。  
東女・小池を中心に追い上げるが、一方、大体大もキャプテン伊勢を中心にまとまり東女の反撃をかまし逃げ切った。

▽3位決定戦  
東京女子 16(7-9) 11 筑波大  
得0060000071040

○：前半立ち上がり、東女体大は、小池、宮脇らの得点で筑波大を5対1まで引き離れた。しかし20分過ぎから東女体大にミスが出

得0023400020000  
【保谷口原木田柳賀田川川永】  
【久樽山河鈴山高伊中市芥吉】  
GK (審・新橋 南波)  
【山坪山川田井脇池藤原島畑】  
【東中大内妹喜酒宮小佐藤田大】  
得00310002501113  
16 (5) PT (2) 11

始め、筑波大は確実に点を取り、残り5分で8対7と逆転し前半を終了した。後半に入ってから両チームとも決め手がなく、1点が非常に大切になってきた。残り10分で抜け出したのが東女体大である。東女体大は、筑波大・山口、鈴木と続けて退場した間に確実に点を取り引き離れた。結局、この退場の間の点差が最後まで縮まらず16対11で東女体大が勝ち3位に決定した。

▽決勝  
日女大 34(123-151) 27 大体大  
得0050010060618  
【田中勢里川井月上山山本田】  
【古田伊大小筒望池松森橋藤】  
GK (審・岡本 清水)

○：打倒関東を目指す大体大のスローオフが始まったが、チーム

得00622067006607  
【小広池呉石宮山 上小吉大】  
【野瀬内田原田本 嶋岡野】  
GK (審・清水)

速攻を武器としている日女大は、パスミスから逆速攻、吉岡が決めた先行する。一方、大体大も長身森山がジャンプシュートを決め応戦、10分過ぎまで互いに点を取り合う。9分には日女大・宮田が逆速攻で引き離し、12分過ぎから日女大5連続得点。大体大の厚いディフェンスの前に大体大なかなか攻め切れず11点差で前半を終了。大体大も後半森山、池上が頑張り一時じりじりと6点差までつめるが、前半の失点が最後まで響き栄光の座は日女大に輝いた。



若者の街で、いま、好評です



ホテルサンキュート東京

新宿駅南口徒歩2分

客室 600  
レストラン「クリッパー」  
スナック&バブ「ティンバー」・カフェレス  
トラン「キャリオカ」・日本料理「車屋」・  
中国料理「頤和園」・結婚式場・大小宴会場

渋谷区代々木 2-3-1 375-3211



“まごころのおつきあい”が  
私たちのモットーです



あなたの銀行

ホッ コク

北國銀行

●本店 石川県金沢市下堤町 ●店舗 石川・富山・福井・東京・大阪・名古屋・京都・111か店



*"Chevron-Line" ist der Beweis höchster Qualität.*

強い精神力、磨きぬかれた技術に裏打ちされたプレーなら、絶対に勝てる。

確かな相棒—ヒュンメル。ヒュンメルに悔し涙は似合わない!

己の殻を破れ!

DOUBLE  
SCORE!

株式会社 **ダブルスコア**

大阪市天王寺区上汐5丁目4-22

06-772-2777(代)



## IHF シンポジウム 報告

○攻撃側・防御側の反則行為

○消極的試合・試合遅延行為

光島 磯雄

1983年5月19日～23日まで西ドイツでレフェリーとトレーナーの合同シンポジウムが開催され、日本からトレーナー部門で、緒方嗣雄氏が、レフェリー部門から私、光島が出席した。シンポジウムでは「クリーンなハンドボール」を旨指しIHFの技術委員、規則審判委員の講演やディスカッションが行なわれた。以下数字にわたってその報告をする。

## 『ルール「第八条」の解説』

IHF/PRC (規則審判

委) ヴェルナー・フィ

ック(西ドイツ)

攻撃側プレイヤーによる反則行為の様態

- 1 フリースローライン外側又はその付近によるプレイヤーによるもの。
- 2 防御側プレイヤーに対して走って突きあたる。
- 3 ジャンプしてパスのあと又はシュートするとき防御プレイヤーにぶつかる。
- 4 シュートをすると腕又は手が相手の肩の上になりおろされたり叩いたり押したりすること。
- 5 ジャンプしたとき前や横に出された膝や足で相手を危険な目にあわせる。
- 6 シュートしたあと相手プレイヤーを腕又は手で邪魔をする。
- 7 前に出した腕、肩、又は肘で相手を押しつける突きとばす。
- 8 ボールを持って危険なフェイントモーション。

8 防御プレイヤーの前でバックシュートを打つ。

II ゴールエリア付近のプレイヤーによるもの

- 1 反則状態のブロックプレー(スクリーンプレー)
- 2 防御プレイヤーに突きあたって(尻、腰などで)はねとばすプレー。
- 3 防御プレイヤーを突きとばす
- 4 防御プレイヤーを押す、つかむなどして向きを変えさせる。
- 5 相手をつまづかせるなどして転倒させる。
- 6 防御プレイヤーに向かって頭を突き出して突っこむ。
- 7 防御プレイヤーをつかむ。
- 8 特に倒れ込みシュートのときに腕で締めつける。
- 9 相手の進路に足を伸ばして出す。
- 10 シュートのあとゴールキーパーに向かってころがって行く。
- 11 防御プレーをマークするためゴールエリアを通過して行く。

防御側プレイヤーによる反則行為の様態

- I フリースローライン外側又はその付近にいるプレイヤーに対するもの
- 1 腕又は脚によるスクリーンプレー。
- 2 人間の身長より低いシュートに対して足や下腿で防ぐこと。
- 3 相手の持っているボールを握りこぶして叩くこと。
- 4 腕で突きとばす。
- 5 相手のジャンプに対抗して、ジャンプしてとびかかる。
- 6 相手の進路に足を伸ばして出す。
- 7 腕で相手をつかむ。
- 8 空間にある相手プレイヤーを突きとばしたり下に引き倒す。
- 9 腕で抱きつく。
- 10 握りこぶしや手のかどで相手の手、その他を叩く。
- 11 相手の首や顔面に向かって手を突き出す。
- 12 相手を肩で押すか突っかしてよろめかせる。
- 13 ジャンプしている相手を下から突きあげる。

- 2 両腕、両手でつかまえる。
- 3 相手を両手又は身体全体で押しつける。
- 4 相手がボールをキャッチする前にボールから遠ざけるため押しのかす。
- 5 相手がボールをキャッチするときその手を叩く。
- 6 エリア前を走るプレイヤーに対して肩を突きあてる。
- 7 何らかの利益を得るためにゴールエリア内に入る。
- 8 スクリーンをした位置、状態から相手を突きとばす。
- 9 パスをするとき又はパスを受けるときに突きとばす。
- 10 シューターの上におおいかぶさって倒す。
- 11 腕で抱きつく。
- 12 ユニホームをつかむ。
- 13 シュートのとき相手の身体や肘を突く。
- 14 首に腕をまきつかせる。
- 15 相手の足をふみつける。
- 16 相手をつねる。
- 17 シューターに対してとびかかる。
- 18 相手を尻や腰のひねりではねとばす。
- 19 ボールをキャッチしようとしている腕をひきずりおろす。
- 20 肘やこぶしを相手の腹部へ突っ込む。
- 21 ゴールエリア内へ入り込む。

## 『消極的試合と試合遅延行為について』

ヤーニス・ケリンベル  
ガス(ソ連)

つい先頃まで消極的試合又は、試合遅延行為というものは多種多様の枝わかれましたようなものと考えられていて、その中のあるものは明らかにハンドボールを毒するものと認められる。このような試合をみたとき、人はハンドボールとは何と未開で粗野なスポーツなのかと言うであらう。

我々は今ハンガリーでの女子世界選手権大会のことを思い出す。その多くはコートで純粹にボールを対象として奮闘していた女性プレイヤーの姿である。そしてこの方法でプレーに終始したのは、ほとんどがゲストチームによってであった。彼女らが攻めているときそれが、相手によって阻止されたときあるプレイヤーはそれを大げさにみせて強調するため床にたおれた。これは防御がいかに粗暴であり、それによってレフェリーから同情の念を呼びおこそうとしているかにみえるのである。プレイヤーの防御活動中、彼らはことさらにこのように床にたおれてみせるという手段を武器として積極的に行使し、何らかの有利な判定がもたらされることを期待する。

このような人目をわざとひくように前もって企画せられたショウのプレーは警告によってはじまる段階的罰則適用の対象とされるべきである。ここで私はこの罰則適用の区切りを明確にするためにいくつかの例を引用することにしたい。

世界選手権大会で韓国チームがボールをとるや否やただちに俊速に相手陣内に入ったが、その後速攻は成功しないと考えたためか、それからゆっくりと自己の攻撃をいろいろなコンビネーションによって組立てはじめた。このような試合の様相(攻撃準備状態)は相手のゴールに何らかの危険もおよぼさないものである。またこれとは別に同チームにより、やっとのことでボールを自チームのものとした後ゆっくりと相手コートに入ってから緩慢にセットプレーを開始したのである。その後ゴールを狙うため相手のすきを見付けようとしているうちに通常よりも多い回数におよぶホールディングなどが発生し、それがフリースローになってしまったのである。

第1の例と同じく第2の例はヨーロッパカップゲームにおいて多くみられるが、これはゲストチームは出来る限り長時間にわたってボールを自己のチームのものとしておこうと努力するからである。我々がこの変型ともいえるプレー

に言及するとき必ず質問が出る。何が正しくて、何が許されるのか?と。この件について我々はスーパーカップス大会の出場チームであるSKAミンスク(ソ連)とグンメルスバツハ(西ドイツ)にその例を見出す。

ボールを得るや否や、グンメルスバツハチームは速攻で相手コートに入った。しかしこの攻撃は成功せず同チームは防御専門でいつも交代することになっているプレイヤーがコートを出てその代りにエアハルト・ヴンダリッヒに入ってくるのを待つのである。そしてこの後新しい攻撃に着手することになるのである。ミングスチームの側にも似たようなことがみられる。しかし彼らは、ボールを得るか、又は相手コート内にいるとき同時に3人がコート外に出て別の3人がコートに入りプレー中の3人を補強する。そのあと攻撃の再組立てをはじめるのである。我々は時として、ボールを長く持ちすぎるとみて罰することがある。しかしチーム側としてはシュートボジションを追求するための動きであると考えている。相手側は防衛がよく頑張ったが結果はおもわしくなかった。このような状況を斟酌考慮した上で、の型主義に結びつけることは可能で、オランダでのB世界選手権での例を挙げてみ

る。スペインチームが1点差で敗れたが、この時スペインはこの結果は絶対に引分けが当然であると言い出した。このチームは相手チームプレイヤーの1人が2分退場をうけていたため本当に絶好の勝てる可能性を持っていた。フィールドプレイヤーが6対5の関係であったことを度外視してもスペインチームはシュートチャンスやシュートボジション獲得はうまくいかなかった。相手チームが罰せられていることは論外として、このチームはレフェリー(ベストを評されているうちの1人)の判断により、ボールは押収(反対側チームの所有になること)された。それはスペインチームが長くボールを持ちすぎたと見られたからである。実際にはスペインチームは攻撃をしようとしてチャンスを探していたのであり、一生懸命努力を傾けて点とることを目指したのであるが、相手防御のやり方が結果的に効果的だったということになる。

我々が攻めているチームが攻める行動を示さないならば、たとえ彼らが攻めてゴールを得ることに夢中であるとしても認めるわけにはいかなないのであり、ボールを押し収(相手ボールにする)することになる。我々がもしゴールヘシュートの意志が明らかであると認めれば、それを肯定しプレーをおわ

り(その場面の結末まで)まで続けさせることは明らかである。我々がずっと以前から決定していたこと、たとえば次の場合、サイドライン付近にいるプレイヤーがゴールにボールを投げるとかわりに他のフリースローライン付近の同僚プレイヤーにパスをした後シュートとなり、パスをうけたプレイヤーが決定的なシュートを狙ってゴールエリアライン付近で待機しているプレイヤーにボールを移したりして攻撃を完全にしようとする行為は、我々が心からの喝采をもって歓迎するところであり、これは監督者についても同様のことである。

消極的試合に関しては、どんなときに、どんな状況が本場に罰せられるものとなるのか?そして他方どんな試合状況がチームをしてパッシングゲームをとらざるをえなくなるのか?我々はミングスチームが3人のプレイヤーでも攻めることをあきらめなかったし、またグンメルスバツハチームもヴンダリッヒが攻めに参加していない状態でもパッシングゲーム傾向をとらなかつたことを知っているが、このことは検討願すべきである。このことは我々がもっと深く考えて共通一体的な考え方に到達しなければならぬ。

# 第10回 全国教員養成大学研修会



## 協会独自の事業としてスタート

— 参加者約200名で実のある研修 —

将来教員を目指す大学生を対象として開催されているこの研修会は、7月26日～30日まで筑波大学で開催された。

協会の普及対策の一方の柱であるこの研修会も、年々充実し、その目的を果しつつあるわけだが、今年から日体協からの補助が打ち切れ（所期の目的を達成したという理由で）台所の苦しい協会としては窮地に立たされたわけで、ハンドボールの現状を考え、指導者の養成が急務であることから協会独自の事業として続けられることになった。

参加者は200名弱となり、受け入れ態勢も大変であったが、無事終了することができた。

ほとんどの大学が、日頃から指導者もおらず、自分たちだけで活動している者たちであるので、研修会で、ハンドボールの専門家から直接学ぶことは、非常に有意義であり、実のある研修会となっている。今後ともますます実のある研修会となるような内容を考慮し、末長く継続していく必要があるだろう。

1 役員・講師・補助員  
本田娟一、李寿昶、山崎武、北

井晴次、高松薫、大西武三、飯田信行、水上一、小山哲央、大村久、岡本研二、河村英明、河村レイ子、土井秀和、佐藤靖、村松誠、笹倉清則、清水宜雄、田中守、北村善雄、筑波大男女ハンドボール部。

### 2 参加チーム

△男子▽ 滋賀大(11)、都留文化大(16)、筑波大医学部(6)、金沢大(9)、宮城教育大(6)、広島大(6)、群馬大(10)、信州大(13)、山形大(5)、計82名。  
△女子▽ 横浜国立大(6)、滋賀大(13)、都留文化大(9)、天理大(7)、神戸大(12)、京都女子大(6) 文教大(10)、奈良女子大(11)、創価大(11)、宮城教育大(8)、茨城大(2)、千葉大(8)、愛知学院大(5)、山形大(3)、岩手大(1)、計112名。男女合計194名。

### 3 研修会賞

午前や、午後の練習の最後に、技術・戦術のまとめとして、ミニゲームが行われるが、ミニゲームの成績のよいチームに、研修会賞としてトロフィーが贈られた。男子は金沢大学、女子は天理大学であった。

### 4 講習内容

午前には主に基礎的な技術の講習

を行なうが、グルーブの編成は、経験別にしており、技両に感じたい形で練習できるようにしている。午後は、主にチームプレーの講習を行なっている。同一大学でチームを組み、人数の少ないチームは、混合チームを作って練習を行なっている。

講習の内容は、グルーブやチームによって異なっているが、だいたい次のようなものである。

夜は、一日目は親睦会、二日目は、希望によって次の内容の講習を行なった。①ハンドボールの体カトレーニング ②ルールと審判法 ③国際試合のビデオや映画、44日目は、それぞれのチームでミーティングをするなど、チームの独自性にまかされている。

### 研修日誌

◇7月27日 午前 天候 晴 場所 新多目的グラウンド チーム名 Cチーム 講師名 佐藤先生 記入者 古谷有紀

△教育内容▽ フェイント練習・0歩のフェイント・ステッピング・ユートモーションからのフェイント・ディフェンスが出てきた場合のフェイント・左右からのフェイントかけ パスへの連続△感想▽ いままでフェイント練習だけではないので、たいへんいい経験とさせていたいただきました。切りかえし後のスピードやタテに切り込



戦術面の練習も熱心に...

考になりました。

◇7月28日 午前 天候 晴 場所 新多目的グラウンド チーム名 F班 広島大学 講師名 李寿昶 記入者 飯島浩太

△教育内容▽ウォーミングアップ サイドステップ バックステップ デイフェンスのつめ ・3対3 (ボールなしで) ・チームデイフェンス 0:6から1:5 2:4 1:2:3への変化 ・ミニゲーム 対滋賀大 13-6で勝ち

△感想▽デイフェンスのいろいろな練習方法を教えていただいた。いままでは比較的ディフェンスの練習がおろそかになりがちだったが、今日教えていただいたことを取り入れ、さらに力を入れていきたいと思えます。ゲームはオフエンスでは速攻がわりとよく決まったが、遅攻では個人的プレーが目立ち、コンビプレーがあまりで

むことの重要性を教えてください。大学へ帰ってからもう一度よく練習して試合で使えるようになりたいと思います。

◇7月27日 午後 天候 雷雨 場所 新多目的グラウンド チーム名 神戸大学 講師名 清水先生 記入者 古谷有紀

△教育内容▽シュート練習 ・3対2からのシュート ・チームオフエンス (創価大と6対6) ・ダブルポストのオフエンス練習

△感想▽2人のポストと2人のフロターとの連携プレーを何度も繰り返し練習することにより、いままでわけもわからず動いていた私たちにとって何かをつかみはじめることができたような気がします。また一緒に練習していただいた創価大学のプレーもたいへん参

考になりました。

ドのまわりこみを利用して ・ミニゲーム 対筑波大C 9-12で負け 対筑波大B 5-10で負け

△感想▽今回はGKは来ていませんが、今日教えていただいたことをチームにもどってぜひ取り入れたいと思えます。ゲームではやはり基本的な体力の違いを感じました。そしてディフェンスがあまく1対1がまだ十分に守りきれていなかった。ただオフエンスにおいては各選手が思いきったプレーができたことはよかったです。

◇7月29日 午前 天候 晴 場所 チーム名 滋賀大学 講師名 大西先生 李先生 山崎先生 飯田先生 記入者 新家道正

△教育内容▽ (講義) 先生方の経験をものにして、ハンドボールに対するとり組み方、また日本、韓国のハンドボール界の現状についての話。

△感想▽特に李先生の話は興味深く聞き入った。自分も含めハンドボールをやっている日本人の甘さというものがしみじみ感じられた。設備、人材とも恵まれているのだからやる以上はもっともっと真剣にとり組まなければならないと思った。

◇7月29日 午後 天候 くもり 場所 グランド チーム名 滋賀大学 講師名 北井先生 記入者 新家道正

△教育内容▽①サイドから切り込み 45度へパスをしてシュートを打たせる ②ポストをおいて2対1で攻撃する ③3対3で平行にパラレル攻撃 ④6対6の攻防

△感想▽パスを送るタイミングがとても大切であることがわかった。今まで自分たちのチームは自分でボールを持ちすぎていたように思う。とくに筑波大のパスまわしを見て、必要以上に自分でボールを持っていないということに気づき見習いたいと思った。

△教育内容▽ゲーム 対京都女子大 2-2 同点 対神戸大 2-1 負け サイドは1試合に1本は必ずサイドシュートを打って相手のディフェンスを広げる。昨日までに教ったダブルの攻めを立てブロックやクロスを試みる

・今後も数をこなしてあわせていく。速攻の守りに戻った時、サイドの方へ追い込み片方をつめる

△感想▽昨日までに教わったダブルの攻めがまだまだ合っていないので、今後の練習で習得しなければならぬと思いました。ディフェンスはかなり良くなったとは思いますがまだマークがずれてしまうところがあるので、声を出してしっかりチェックするようにします

△教育内容▽GKの講習 GKの基本 練習方法 ・ランパス ・速攻(3人、4人、5人) サイ

△教育内容▽GKの講習 GKの基本 練習方法 ・ランパス ・速攻(3人、4人、5人) サイ

△教育内容▽GKの講習 GKの基本 練習方法 ・ランパス ・速攻(3人、4人、5人) サイ

△教育内容▽GKの講習 GKの基本 練習方法 ・ランパス ・速攻(3人、4人、5人) サイ

△教育内容▽GKの講習 GKの基本 練習方法 ・ランパス ・速攻(3人、4人、5人) サイ

△教育内容▽GKの講習 GKの基本 練習方法 ・ランパス ・速攻(3人、4人、5人) サイ

高感度スクーティング  
Beat ビートの  
きりかたパワフルな  
リッパ!  
HONDA®

# すばらしいキャッチング感

**ミカサ**  
**ハンドボール**

世界の  
ビッグゲームはミカサ

数多くの国際大会で輝かしい実績  
1981 中央アフリカンゲーム(アンゴラ)  
1981 世界選手権ジュニア(ソビエト)  
1982 アジア競技大会(インド)



国際ハンドボール連盟  
公認球



日本ハンドボール協会  
検定球

**MIKASA**<sup>®</sup>

明星ゴム工業株式会社

本社/〒733 広島市西区楠木町3丁目11-2 ☎(082)237-5145(内  
営業所/広島・東京・大阪・名古屋・福岡

ロサンゼルスオリンピック公式試合球 ★ミカサバレーボール ★ミカサウォーターポロボール



ブラザー電子タイプライターが  
1984年ロサンゼルス  
オリンピックの  
公式タイプライターに  
選ばれました。

Electronic  
Office  
Typewriters

**brother**<sup>®</sup>  
ブラザー工業株式会社

# 各地の記録

## 男子21回女子10回中国 四国学生秋季リーグ戦

(10月22、23、29、30日)

### ▽男子1部

愛媛大	26	鳥取大
愛媛大	38	鳥根大
愛媛大	25	修道大
愛媛大	17	修道大
愛媛大	17	鳥取大
広島大	24	鳥取大
広島大	30	鳥取大
広島大	30	鳥根大
鳥取大	30	鳥根大
鳥取大	29	鳥根大
鳥取大	26	鳥根大
鳥取大	22	鳥根大
鳥取大	19	鳥根大
鳥取大	22	鳥根大
鳥取大	19	鳥根大

### ▽男子2部

山口大	26	松山商大
山口大	25	鳥取大
山口大	25	鳥取大
山口大	25	鳥取大
山口大	25	鳥取大
山口大	25	鳥取大
山口大	25	鳥取大
山口大	25	鳥取大
山口大	25	鳥取大
山口大	25	鳥取大
山口大	25	鳥取大
山口大	25	鳥取大
山口大	25	鳥取大
山口大	25	鳥取大
山口大	25	鳥取大
山口大	25	鳥取大

香川大 30-24 近大呉工  
(順位)①徳山大②徳島大③香川  
大④近畿大呉工学部

## 第33回茨城県総合選手権

(10月30日、11月3日)

### ▽男子

土浦三OB	22	水戸一高
土浦三OB	22	水戸一高
土浦三OB	22	水戸一高
土浦三OB	22	水戸一高
土浦三OB	22	水戸一高
土浦三OB	22	水戸一高
土浦三OB	22	水戸一高
土浦三OB	22	水戸一高
土浦三OB	22	水戸一高
土浦三OB	22	水戸一高
土浦三OB	22	水戸一高
土浦三OB	22	水戸一高
土浦三OB	22	水戸一高
土浦三OB	22	水戸一高
土浦三OB	22	水戸一高

### ▽女子

潮来高	26	笠間高
八郷高	14	高萩高
土浦三高	15	筑波ラパーズ
銚田二高	16	竜ヶ崎二高
結城二高	14	太田二高
水海道二高	25	潮来高
八郷二高	14	土浦三高
銚田二高	12	竜ヶ崎二高
銚田二高	17	結城二高
水海道二高	14	土浦三高
水海道二高	14	土浦三高
水海道二高	14	土浦三高
水海道二高	14	土浦三高
水海道二高	14	土浦三高
水海道二高	14	土浦三高
水海道二高	14	土浦三高
水海道二高	14	土浦三高

### ▽1部リーグ

金工大	23	長野大
金工大	26	信州大
金工大	26	信州大
金工大	26	信州大
金工大	26	信州大
金工大	26	信州大
金工大	26	信州大
金工大	26	信州大
金工大	26	信州大
金工大	26	信州大
金工大	26	信州大
金工大	26	信州大
金工大	26	信州大
金工大	26	信州大
金工大	26	信州大

## 北信越学生秋季リーグ戦

(10月29、30日)

## 第13回近畿クラブ対抗選手権

(11月3日)

金工大	23	長野大
金工大	26	信州大
金工大	26	信州大
金工大	26	信州大
金工大	26	信州大
金工大	26	信州大
金工大	26	信州大
金工大	26	信州大
金工大	26	信州大
金工大	26	信州大
金工大	26	信州大
金工大	26	信州大
金工大	26	信州大
金工大	26	信州大
金工大	26	信州大

茨城大	28	筑波大
茨城大	28	筑波大
茨城大	28	筑波大
茨城大	28	筑波大
茨城大	28	筑波大
茨城大	28	筑波大
茨城大	28	筑波大
茨城大	28	筑波大
茨城大	28	筑波大
茨城大	28	筑波大
茨城大	28	筑波大
茨城大	28	筑波大
茨城大	28	筑波大
茨城大	28	筑波大
茨城大	28	筑波大

和商ク	10	鈴蘭台ク
和商ク	10	鈴蘭台ク
和商ク	10	鈴蘭台ク
和商ク	10	鈴蘭台ク
和商ク	10	鈴蘭台ク
和商ク	10	鈴蘭台ク
和商ク	10	鈴蘭台ク
和商ク	10	鈴蘭台ク
和商ク	10	鈴蘭台ク
和商ク	10	鈴蘭台ク
和商ク	10	鈴蘭台ク
和商ク	10	鈴蘭台ク
和商ク	10	鈴蘭台ク
和商ク	10	鈴蘭台ク
和商ク	10	鈴蘭台ク

氷見	24	小杉
氷見	24	小杉
氷見	24	小杉
氷見	24	小杉
氷見	24	小杉
氷見	24	小杉
氷見	24	小杉
氷見	24	小杉
氷見	24	小杉
氷見	24	小杉
氷見	24	小杉
氷見	24	小杉
氷見	24	小杉
氷見	24	小杉
氷見	24	小杉

新 湊 17-6 富山南	高岡向陵 33-8 高岡商	富山商 18-17 富山中中部	▽準決勝 氷 見 42 (2220) 4 4 8 新 湊	高岡向陵 31 (1516) 5 6 11 富山商	▽決勝 氷 見 21 (1011) 10 5 15 高岡向陵	△女子▽	▽1回戦 高岡女 12-11 高岡第一	富山北部 22-9 高岡	高岡向陵 19-11 富山女短付	高岡商 17-10 有磯	▽準決勝 富山北部 8 (5 3) 0 3 3 富山女	高岡商 24 (1113) 8 7 15 高岡向陵	▽決勝 高岡商 16 (11 5) 3 4 7 富山北部	富山県秋季選手権 (11月13、20日)	△一般男子▽	▽1回戦 向陵ク 26-18 北嶺会	想球会 21-12 射水ク	八尾ク 23-17 高商OB	▽2回戦 教員B 31-22 向陵ク	氷見ク 18-17 想球会	教員A 25-12 杉原ク	氷見クシ 29-13 八尾ク	▽準決勝 教員B 26 (1313) 12 8 20 氷見ク	氷見クシ 24 (1014) 11 11 22 教員A	▽決勝 氷見クシ 23 (1112) 11 10 21 教員B	△一般女子▽	▽1回戦 高商OG会 11-8 想球会	▽2回戦 高商OG会 15-13 高女OG	桜球会 11-7 向陵OG	▽決勝 桜球会 13 (7 6) 2 2 8 高OG商	△一般女子二部▽	▽決勝 コスモス 9 (4 5) 2 2 7 あじさい	第10回千葉県総合選手権 (10月29、30日、11月3日)	▽1回戦 海目下総 27-3 木更津高	日産石油化学 12-0 張高	若潮クラブB 35-23 木更津クラブ	佐原高 12-0 出光石油千葉	千葉大B 19-16 東邦高OB	市川FOG 20-13 市原クラブ	道野辺クラブ 19-18 我孫子高	小金クラブ 26-13 佐原高B	▽2回戦 千葉教員 28-15 海目下総	日産石油化学 29-21 千葉大A	八千代高 28-18 若潮クラブB	佐原高 18-17 若潮クラブA	市川FOG 24-15 千葉大B	市川FOG 29-11 柏南高	佐原クラブ 28-8 道野辺クラブ	小金クラブ 12-0 三井石油化学	▽準々決勝 千葉教員 36-9 日産石油化学	佐原高A 13-13 八千代高	市川FOG 3 PTC 2	市川高 18-17 市川高	佐原クラブ 18-12 小金クラブ	▽準決勝 千葉教員 25 (1213) 5 1 6 佐原高A	佐原 13 (6 7) 5 6 11 市川	ククラブ 13 (6 7) 5 6 11 FOG	▽決勝 千葉教員 34 (1717) 2 5 7 佐原	△女子▽	▽1回戦 佐原メッツ 12-0 手児奈クラブ	佐原高 10-8 泉高	佐原女高A 14-7 柏南高	▽2回戦 千葉クラブ 28-3 佐原メッツ	佐原女高B 15-3 佐原高	佐原女高A 12-3 千葉明德高	水郷クラブ 13-9 朝顔クラブ	▽準決勝 千葉 16 (8 8) 5 3 8 佐原	佐原 10 (5 5) 2 2 8 水郷	女高A 31 (1120) 2 3 5 女高A
--------------	---------------	-----------------	------------------------------	---------------------------	--------------------------------	------	---------------------	--------------	------------------	--------------	-----------------------------	---------------------------	------------------------------	----------------------	--------	--------------------	---------------	----------------	--------------------	---------------	---------------	----------------	--------------------------------	-----------------------------	---------------------------------	--------	---------------------	-----------------------	---------------	-----------------------------	----------	-----------------------------	--------------------------------	---------------------	----------------	---------------------	-----------------	------------------	-------------------	-------------------	------------------	----------------------	-------------------	-------------------	------------------	------------------	-----------------	-------------------	-------------------	------------------------	-----------------	---------------	---------------	-------------------	--------------------------------	-----------------------	--------------------------	-----------------------------	------	------------------------	-------------	----------------	-----------------------	----------------	------------------	------------------	---------------------------	----------------------	-------------------------

# 週に一度はスポーツを

健康づくりは毎日の快眠・快食から...  
それに適度なスポーツも  
欠かせません。  
私達は皆様の健康を願って  
薬品づくりに努めます。



滋養強壮・虚弱体質に  
●にんにく抽出エキス・ビタミンB<sub>1</sub>・肝臓分解エキス・ビタミンB<sub>6</sub>製剤  
**キョーレオピン**  
●薬用人参・牛黄・ビタミンB<sub>1</sub>・にんにく抽出エキス製剤  
**レオピンファイブ**

❖ **湧永製薬株式会社**  
本社 千553 大阪市福島区福島3丁目1番39号  
TEL.(06)458-8901(代)  
中央研究所 千729-64 広島県高田郡甲田町大字下甲田1624  
広島工場 TEL.(082645)2331

# くらし、ひろげるジャスコのカード



ファッションから食品まで  
サインひとつでお買物——。  
ご入会手続きも簡単です。お気軽にお申込みください。

## 会 員 募 集 中



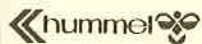
- お支払いもいろいろ
- 月々のお支払いがラクな  
リボルビング払い
  - 手数料なしのおトクな  
一回払い
  - お求めはいま、お支払いは  
ボーナス一括払い

一部地域により取扱っていない場合  
もございます。

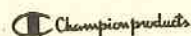
お申し込み、お問い合わせは、ジャスコ各店  
サービスカウンター又は、販売員におたず  
ねください。



### ウェア



ASAHA



ハンドボール

シューズ

ボール

DESCENTE

Mikasa  
molten

adidas

TIGER.

MONT BLANC

### AI スポーツの通信販売

商品名・カラー・サイズ・数量等をはっきりと。住所・氏名・年齢・電話番号を明記  
のうえ、現金書留でご送金ください。即日  
発送いたします。

なお、最終納期に間に合わない場合はご連絡のうえご送金いたします。送料500円  
(5,000円以上お買い上げの方は無料です)

### 新チームはユニホームから

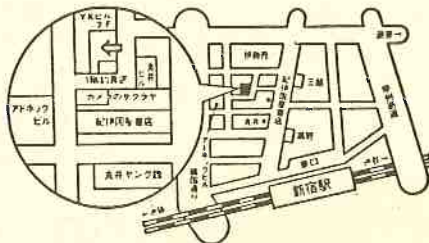
#### 別注ユニフォーム

上下 4,000円より(ネーム入り)  
・スカイハンド・アディダス  
・シヨウダール・アサカ  
・レイバンス  
オリジナルユニフォームを作りま  
せんか?

ハンドボールショップ  
**ハンドボール**  
AIスポーツプロダクト セブン

〒160 東京都港区新橋3-16-4 YKビル2F

TEL 03-350-1054





# ロスへ！みんなで応援に行こう！

日本男子チームが出場するロス・オリンピックハンドボール競技は別記日程で行なわれます。

日本のハンドボールファンにとつては、日本チームに是非とも入賞してほしいところ。日本ハンドボール協会としても、ちょうど夏休みに行なわれるオリンピックに、多勢のファンが応援に行つてほしいと考えています。

そこで、数業者の企画の中から最も低廉で、信頼もおけるISSA社の企画をご紹介します。

ハンドボール競技の入場券は58人分確保されています。

☆Aコース(20名) 7/30成田発 7/31の初戦から前半8/4まで観戦して8/7に成田着(7泊9日) 毎朝食、1日1食機内食、競技場までのバス代、市内観光、デイズニード観光代、空港税、傷害保険込みで1人41万円(添乗員付)

☆Bコース 8/6成田発、8/6から後半決勝戦まで観戦して8/13成田着(6泊8日)その他はAコースと同じ条件で1人40万円

☆Cコース 7/30成田発。初戦から全試合を観戦して8/13に

## ロスオリンピック・ツアー募集

成田着(13泊15日)その他はAコースと同じ条件で1人53万円

☆Aコース(20名) 7/30成田発 7/31の初戦から前半8/4まで観戦して8/7に成田着(7泊9日) 毎朝食、1日1食機内食、競技場までのバス代、市内観光、デイズニード観光代、空港税、傷害保険込みで1人41万円(添乗員付)

☆Bコース 8/6成田発、8/6から後半決勝戦まで観戦して8/13成田着(6泊8日)その他はAコースと同じ条件で1人40万円

☆Cコース 7/30成田発。初戦から全試合を観戦して8/13に

## ロスアンゼルスオリンピック・ハンドボール競技日程

会場	試合	日時
ロサンゼルス・アナハイムのカリフォルニア州立大学フライトン校スポーツホール。1~4位戦のみロス市内フォールラム	☆出場国 男子・AグループVルーマニア アメリカ大陸 ポーランド アフリカ大陸 ソ連 チェコ	8月8日
	男子順位決定戦V	8月10日
	女子	8月11日
	☆組合せ 男子1次リーグV	7月31日
	男子1次リーグ	8月2日
	男子2次リーグ	8月4日
	男子3次リーグ	8月6日
	女子1次リーグ	8月7日
	女子2次リーグ	8月9日

人から、まず人からの科学。バイオメカニクス。

7人は、鳥である。  
7人は壁である。



はるか、上空での空中戦を展開する競技である。  
鉄壁の、という形容がふさわしい競技である。  
防御から攻撃へ、ひとつの動きで移っていく。  
コートという名の戦場では、身につけるウェアも、  
作戦のひとつなのだ。バイオメカニクスから生まれた  
ハンドボールウェア〈スカイハンド〉。  
武器のような7人のために。

株式会社アシックス

商品その他お問い合わせは、株式会社アシックス消費者相談課まで。  
〒564 大阪府吹田市豊津町2番3号 ☎(06)385-1111(大代表)



DESCENTE



## 生存のすべてを託す、一球のシュートもある。

スポーツマンたちは激しい練習に耐える。それは満足のいくプレーを行うためである。  
 自らが描いたイメージを、自らの肉体によって実現することが、  
 彼らの目標であり、彼らのよろこびでもある。  
 それが無為な行為だとしたら、ロマンと呼んではいられない。  
 それこそが、スポーツマンたちの生活そのものであるから。  
 「アディダス」ハンドボールウェアは、最新の機能で彼らのロマンに応えます。

adidas 

（財）日本ハンドボール協会編  
 『ハンドボール』

第三二五号

昭和四十年六月一日  
 昭和五八年十二月二十五日  
 第三種郵便物認可  
 昭和五八年十二月一日 発行

振替 代表  
 東京 六〇七〇九七  
 六二五八三四八番

編集兼  
 発行人 荒川清美

定価三百五拾円  
 （三年購読料）  
 三千三百円